F-12C

クイックスタートガイド　’11.7

はじめに

「F-12C」をお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。
ご使用の前やご利用中に、本書をお読みいただき、正しくお使いください。

FOMA端末のご使用にあたって

- F-12Cは、W-CDMA・GSM/GPRS・無線LAN方式に対応しています。
- FOMA端末は無線を利用しているため、トンネル・地下・建物の中などで電波の届かない所、屋外でも電波の弱い所およびFOMAサービスエリア外ではご使用になれません。また、高層ビル・マンションなどの高層階で見晴らしのよい所であってもご使用になれない場合があります。なお、電波が強く電波状態アイコンが4本表示されている状態で、移動せずに使用している場合でも通話が切れることがありますので、ご了承ください。
- FOMA端末は電波を利用している関係上、第三者により通話を傍受されるケースもないとはいえません。しかし、W-CDMA・GSM/GPRS方式では秘話機能をすべての通話について自動的にサポートしますので、第三者が受信機で傍受したとしても、ただの雑音としか聞き取れません。
- FOMA端末は、音声をデジタル信号に変換して無線による通信を行っていることから、電波状態の悪い所へ移動するなど、送信されてきたデジタル信号を正確に復元できない場合には、実際の音声と異なって聞こえる場合があります。
- お客様ご自身でFOMA端末に登録された情報内容（連絡先、スケジュール、メモなど）は、別にメモを取るなどして保管してくださるようお願いします。FOMA端末の故障や修理、機種変更やその他の取り扱いなどによって、万が一、登録された情報内容が消失してしまうことがあっても、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 本FOMA端末はパソコンなどと同様に、お客様がインストールを行うアプリケーションなどによっては、お客様のFOMA端末の動作が不安定になったり、お客様の位置情報やFOMA端末に登録された個人情報などがインターネットを経由して外部に発信され不正に利用されたりする可能性があります。このため、ご利用されるアプリケーションなどの提供元および動作状況について十分にご確認の上ご利用ください。
- 大切なデータはmicroSDカードに保存することをおすすめします。
- このFOMA端末は、FOMAプラスエリアおよびFOMAハイスピードエリアに対応しております。
- 本書は、ドコモUIMカードをご使用の場合で記載しています。

SIMロック解除

本FOMA端末はSIMロック解除に対応しています。SIMロックを解除すると他社のSIMカードを使用することができます。

- SIMロック解除は、ドコモショップで受付をしております。
- 別途SIMロック解除手数料がかかります。
- 他社のSIMカードをご使用になる場合、ご利用になれるサービス、機能などが制限されます。当社では、一切の動作保証はいたしませんので、あらかじめご了承ください。
- SIMロック解除に関する詳細については、ドコモのホームページをご確認ください。

F-12Cの操作説明

「クイックスタートガイド」（冊子）

画面の表示内容や基本的な機能の操作について説明

「取扱説明書」（本FOMA端末に搭載）

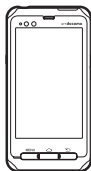
すべての機能の案内や操作について説明
アプリケーションメニューで［取扱説明書］→検索方法を選択

「取扱説明書」（PDFファイル）

すべての機能の案内や操作について説明
〈パソコンから〉http://www.nttdocomo.co.jp/support/trouble/manual/download/index.html
※最新情報がダウンロードできます。

本体付属品および主なオプション品

〈本体付属品〉

F-12C（リアカバー F63、保証書含む）

クイックスタートガイド（本書）

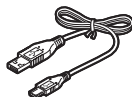
電池パック F21

卓上ホルダ F34

microSD カード（2GB）（試供品）（取扱説明書付き）

※ お買い上げ時にあらかじめ FOMA 端末に取り付けられています。

卓上ホルダ F34はお客様から回収させていただいた製品のABS樹脂をリサイクルして製造しております。

PC 接続用 USB ケーブル T01

FOMA 充電 microUSB 変換アダプタ T01

〈主なオプション品〉

FOMA AC アダプタ 01 ／ 02（保証書、取扱説明書付き）

その他のオプション品→P49

- 本書においては、「F-12C」を「FOMA端末」と表記しています。
- 本書に掲載している画面およびイラストはイメージです。実際の製品とは異なる場合があります。
- 本書内の「認証操作」という表記は、4～8桁の端末暗証番号を入力する操作（→P34）を表しています。
- FOMAカードをご利用のお客様は、本書内に記載している「ドコモUIMカード」は「FOMAカード」と読み替えてください。
- 本書の内容の一部、または全部を無断転載することは、禁止されています。
- 本書の内容やホームページのURLおよび記載内容は、将来予告なしに変更することがあります。

目　次

F-12Cのご利用にあたっての注意事項

- 本FOMA端末はｉモードのサイト（番組）への接続、ｉアプリなどには対応しておりません。
- Googleアプリケーションおよびサービス内容は、将来予告なく変更される場合があります。
- 本FOMA端末は、データの同期や最新ソフトウェアバージョンをチェックするための通信やサーバーとの接続を維持するための通信などを一部自動的に行う仕様となっています。また、アプリケーションのダウンロードや動画の視聴などデータ量の大きい通信を行うと、パケット通信料が高額になりますので、パケット定額サービスのご利用を強くおすすめします。
- 本FOMA端末では、マナーモード中でも、着信音や各種通知音を除く音（動画再生、音楽の再生、アラームなど）は消音されません。
- 本FOMA端末のソフトウェアを最新の状態に更新することができます。→P53
- FOMA端末の品質改善に対応したアップデートや、オペレーティングシステム（OS）のバージョンアップを行うことがあります。バージョンアップ後に、古いバージョンで使用していたアプリケーションが使えなくなる場合や意図しない不具合が発生する場合があります。
- microSDカードやFOMA端末の容量がいっぱいに近い状態のときに、起動中のアプリケーションが正常に動作しなくなる場合があります。そのときは保存しているデータを削除してください。
- 紛失に備え画面ロックのパスワードを設定し、FOMA 端末のセキュリティを確保してください。
- Googleが提供するサービスについては、Google Inc.の利用規約をお読みください。また、そのほかのウェブサービスについては、それぞれの利用規約をお読みください。
- FOMAカード（青色）をお使いの場合は、海外で本FOMA端末を利用することはできません。FOMAカード（青色）をお持ちの場合には、ドコモショップ窓口にてお取り替えください。
- 万が一紛失した場合は、Googleトーク、Gmail、AndroidマーケットなどのGoogleサービスや、Twitter、Facebook、mixiなどのサービスを他人に利用されないように、パソコンから各種アカウントのパスワードを変更してください。
- spモード、mopera UおよびビジネスmoperaインターネットVPN設定はPPTPのみに限定）以外のプロバイダはサポートしておりません。
- Wi-Fiテザリングのご利用には、spモードのご契約が必要です。
- Wi-Fiテザリング利用時は、パケット通信料が高額になる場合がありますので、パケット定額サービスへのご加入を強くおすすめします。
- パケット定額サービスをご利用の場合、Wi-Fiテザリングを有効にするとWi-Fi対応機器が未接続の状態でも、ブラウザやメールなどを含むすべてのパケット通信が「パソコンなどの外部機器を接続した通信」となります。利用後は必ずWi-Fiテザリングを無効にしてください。
- ご利用時の料金など詳細については、http://www.nttdocomo.co.jp/をご覧ください。

安全上のご注意（必ずお守りください）

- ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。また、お読みになった後は、大切に保管してください。
- ここに示した注意事項は、お使いになる人や、他の人への危害、財産への損害を未然に防ぐための内容を記載していますので、必ずお守りください。
- 次の表示の区分は、表示内容を守らず、誤った使用をした場合に生じる危害や損害の程度を説明しています。

⚠危険	この表示は、取り扱いを誤った場合、「死亡または重傷を負う危険が切迫して生じることが想定される」内容です。
⚠警告	この表示は、取り扱いを誤った場合、「死亡または重傷を負う可能性が想定される」内容です。
⚠注意	この表示は、取り扱いを誤った場合、「軽傷を負う可能性が想定される場合および物的損害の発生が想定される」内容です。

- 次の絵表示の区分は、お守りいただく内容を説明しています。

禁止	禁止（してはいけないこと）を示します。
分解禁止	分解してはいけないことを示す記号です。
濡れ手禁止	濡れた手で扱ってはいけないことを示す記号です。
水濡れ禁止	水がかかる場所で使用したり、水に濡らしたりしてはいけないことを示す記号です。
指示	指示に基づく行為の強制（必ず実行していただくこと）を示します。
電源プラグを抜く	電源プラグをコンセントから抜いていただくことを示す記号です。

■「安全上のご注意」は次の項目に分けて説明しています。

◆FOMA端末、電池パック、アダプタ、卓上ホルダ、ドコモUIMカードの取り扱い（共通）

⚠危険

禁止

火のそば、直射日光の当たる場所、炎天下の車内などの高温の場所で使用、保管、放置しないでください。
火災、やけど、けがの原因となります。

禁止

電子レンジなどの加熱調理機器や高圧容器に入れないでください。
火災、やけど、けが、感電の原因となります。

分解禁止

分解、改造をしないでください。
火災、やけど、けが、感電の原因となります。

水濡れ禁止

水や飲料水、ペットの尿などで濡らさないでください。

火災、やけど、けが、感電の原因となります。
防水性能についてはこちらをご参照ください。→P15

指示

FOMA端末に使用する電池パックおよびアダプタは、NTT ドコモが指定したものを使用してください。

火災、やけど、けが、感電の原因となります。

⚠警告

禁止

強い衝撃を与えたり、投げ付けたりしないでください。

火災、やけど、けが、感電の原因となります。

禁止

充電端子や外部接続端子に導電性異物（金属片、鉛筆の芯など）を接触させないでください。また、内部に入れないでください。

火災、やけど、けが、感電の原因となります。

禁止

使用中や充電中に、布団などで覆ったり、包んだりしないでください。

火災、やけどの原因となります。

指示

ガソリンスタンドなど引火性ガスが発生する場所に立ち入る場合は必ず事前にFOMA端末の電源を切り、充電をしている場合は中止してください。

ガスに引火する恐れがあります。
ガソリンスタンド構内などでおサイフケータイをご使用になる際は必ず事前に電源を切った状態で使用してください。
（おサイフケータイ ロック設定を設定されている場合にはロックを解除した上で電源をお切りください）

指示

使用中、充電中、保管時に、異臭、発熱、変色、変形など、いままでと異なるときは、直ちに次の作業を行ってください。

- **電源プラグをコンセントやシガーライターソケットから抜く。**
- **FOMA端末の電源を切る。**
- **電池パックをFOMA端末から取り外す。**

火災、やけど、けが、感電の原因となります。

⚠注意

禁止

ぐらついた台の上や傾いた場所など、不安定な場所には置かないでください。

落下して、けがの原因となります。

禁止

湿気やほこりの多い場所や高温になる場所には、保管しないでください。

火災、やけど、感電の原因となります。

指示

子供が使用する場合は、保護者が取り扱いの方法を教えてください。また、使用中においても、指示どおりに使用しているかをご確認ください。

けがなどの原因となります。

指示

乳幼児の手の届かない場所に保管してください。

誤って飲み込んだり、けがなどの原因となったりします。

指示

FOMA端末をアダプタに接続した状態で長時間連続使用される場合には特にご注意ください。

充電しながらアプリケーションや通話などを長時間行うとFOMA端末や電池パック・アダプタの温度が高くなることがあります。
温度の高い部分に直接長時間触れるとお客様の体質や体調によっては肌に赤みやかゆみ、かぶれなどが生じたり、低温やけどの原因となったりする恐れがあります。

◆FOMA端末の取り扱い

⚠警告

禁止

赤外線ポートを目に向けて送信しないでください。

目に悪影響を及ぼす原因となります。

禁止

赤外線通信使用時に、赤外線ポートを赤外線装置のついた家電製品などに向けて操作しないでください。

赤外線装置の誤動作により、事故の原因となります。

禁止

ライトの発光部を人の目に近づけて点灯発光させないでください。特に、乳幼児を撮影するときは、1m以上離れてください。

視力障害の原因となります。また、目がくらんだり驚いたりしてけがなどの事故の原因となります。

禁止

FOMA端末内のドコモUIMカードやmicroSDカード挿入口に水などの液体や金属片、燃えやすいものなどの異物を入れないでください。

火災、やけど、けが、感電の原因となります。

禁止

自動車などの運転者に向けてライトを点灯しないでください。

運転の妨げとなり、事故の原因となります。

指示

航空機内や病院など、使用を禁止された区域では、FOMA端末の電源を切ってください。

電子機器や医用電気機器に悪影響を及ぼす原因となります。
医療機関内における使用については各医療機関の指示に従ってください。
航空機内での使用などの禁止行為をした場合、法令により罰せられます。
ただし、電波を出さない設定にすることなどで、機内で携帯電話が使用できる場合には、航空会社の指示に従ってご使用ください。

指示

ハンズフリーに設定して通話する際や、着信音が鳴っているときなどは、必ずFOMA端末を耳から離してください。
また、イヤホンマイクなどをFOMA端末に装着し、ゲームや音楽再生をする場合は、適度なボリュームに調節してください。

音量が大きすぎると難聴の原因となります。
また、周囲の音が聞こえにくいと、事故の原因となります。

指示

心臓の弱い方は、着信バイブレータ（振動）や着信音量の設定に注意してください。

心臓に悪影響を及ぼす原因となります。

指示

医用電気機器などを装着している場合は、医用電気機器メーカもしくは販売業者に、電波による影響についてご確認の上ご使用ください。

医用電気機器などに悪影響を及ぼす原因となります。

指示

高精度な制御や微弱な信号を取り扱う電子機器の近くでは、FOMA端末の電源を切ってください。

電子機器が誤動作するなどの悪影響を及ぼす原因となります。
※ ご注意いただきたい電子機器の例
補聴器、植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器、その他の医用電気機器、火災報知器、自動ドア、その他の自動制御機器など。
植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器、その他の医用電気機器をご使用される方は、当該の各医用電気機器メーカもしくは販売業者に電波による影響についてご確認ください。

指示

万が一、ディスプレイ部やカメラのレンズを破損した際には、割れたガラスや露出したFOMA端末の内部にご注意ください。

ディスプレイ部やカメラのレンズの表面には、プラスチックパネルを使用しガラスが飛散りにくい構造となっておりますが、誤って割れた破損部や露出部に触れますと、けがの原因となります。

⚠注意

禁止

ストラップなどを持ってFOMA端末を振り回さないでください。

本人や他の人に当たり、けがなどの事故の原因となります。

禁止

FOMA端末が破損したまま使用しないでください。

火災、やけど、けが、感電の原因となります。

禁止

モーションセンサーのご使用にあたっては、必ず周囲の安全を確認し、FOMA端末をしっかりと握り、必要以上に振り回さないでください。

けがなどの事故の原因となります。

禁止

誤ってディスプレイを破損し、液晶が漏れた場合には、顔や手などの皮膚につけないでください。

失明や皮膚に傷害を起こす原因となります。
液晶が目や口に入った場合には、すぐにきれいな水で洗い流し、直ちに医師の診断を受けてください。
また、皮膚や衣類に付着した場合は、すぐにアルコールなどで拭き取り、石鹸で水洗いしてください。

指示

自動車内で使用する場合、自動車メーカもしくは販売業者に、電波による影響についてご確認の上ご使用ください。

車種によっては、まれに車載電子機器に悪影響を及ぼす原因となりますので、その場合は直ちに使用を中止してください。

指示

お客様の体質や体調によっては、かゆみ、かぶれ、湿疹などが生じることがあります。異状が生じた場合は、直ちに使用をやめ、医師の診療を受けてください。→「材質一覧（P10）」

指示

ディスプレイを見る際は、十分明るい場所で、画面からある程度の距離をとってご使用ください。

視力低下の原因となります。

◆電池パックの取り扱い

■ **電池パックのラベルに記載されている表示により、電池の種類をご確認ください。**

表　示	電池の種類
Li-ion 00	リチウムイオン電池

⚠危険

禁止

端子に針金などの金属類を接触させないでください。また、金属製ネックレスなどと一緒に持ち運んだり、保管したりしないでください。

電池パックの発火、破裂、発熱、漏液の原因となります。

禁止

電池パックをFOMA端末に取り付けるときは、電池パックの向きを確かめ、うまく取り付けできない場合は、無理に取り付けないでください。

電池パックの発火、破裂、発熱、漏液の原因となります。

禁止

火の中に投下しないでください。

電池パックの発火、破裂、発熱、漏液の原因となります。

禁止

釘を刺したり、ハンマーで叩いたり、踏みつけたりしないでください。

電池パックの発火、破裂、発熱、漏液の原因となります。

指示

電池パック内部の液体などが目の中に入ったときは、こすらず、すぐにきれいな水で洗った後、直ちに医師の診療を受けてください。

失明の原因となります。

⚠警告

禁止

落下による変形や傷などの異常が見られた場合は、絶対に使用しないでください。

電池パックの発火、破裂、発熱、漏液の原因となります。

電池パックが漏液したり、異臭がしたりするときは、直ちに使用をやめて火気から遠ざけてください。
漏液した液体に引火し、発火、破裂の原因となります。

ペットが電池パックに噛みつかないようご注意ください。
電池パックの発火、破裂、発熱、漏液の原因となります。

⚠注意

一般のゴミと一緒に捨てないでください。
発火、環境破壊の原因となります。不要となった電池パックは、端子にテープなどを貼り、絶縁してからドコモショップなど窓口にお持ちいただくか、回収を行っている市町村の指示に従ってください。

濡れた電池パックを使用したり充電したりしないでください。
電池パックの発火、破裂、発熱、漏液の原因となります。

電池パック内部の液体などが漏れた場合は、顔や手などの皮膚につけないでください。
失明や皮膚に傷害を起こす原因となります。
液体などが目や口に入った場合や、皮膚や衣類に付着した場合は、すぐにきれいな水で洗い流してください。
また、目や口に入った場合は、洗浄後直ちに医師の診断を受けてください。

◆アダプタ、卓上ホルダの取り扱い

⚠警告

アダプタのコードが傷んだら使用しないでください。
火災、やけど、感電の原因となります。

ACアダプタや卓上ホルダは、風呂場などの湿気の多い場所では使用しないでください。
火災、やけど、感電の原因となります。

DCアダプタはマイナスアース車専用です。プラスアース車には使用しないでください。
火災、やけど、感電の原因となります。

雷が鳴り出したら、アダプタには触れないでください。
感電の原因となります。

コンセントやシガーライターソケットにつないだ状態で充電端子をショートさせないでください。また、充電端子に手や指など、身体の一部を触れさせないでください。
火災、やけど、感電の原因となります。

アダプタのコードの上に重いものをのせないでください。
火災、やけど、感電の原因となります。

コンセントにACアダプタを抜き差しするときは、金属製ストラップなどの金属類を接触させないでください。
火災、やけど、感電の原因となります。

濡れた手でアダプタのコード、卓上ホルダ、コンセントに触れないでください。
火災、やけど、感電の原因となります。

指定の電源、電圧で使用してください。また、海外で充電する場合は、海外で使用可能なACアダプタで充電してください。
誤った電圧で使用すると火災、やけど、感電の原因となります。
ACアダプタ：AC100V
DCアダプタ：DC12V・24V（マイナスアース車専用）
海外で使用可能なACアダプタ：AC100V～240V（家庭用交流コンセントのみに接続すること）

指示

DCアダプタのヒューズが万が一切れた場合は、必ず指定のヒューズを使用してください。
火災、やけど、感電の原因となります。指定ヒューズに関しては、個別の取扱説明書でご確認ください。

指示

電源プラグについたほこりは、拭き取ってください。
火災、やけど、感電の原因となります。

指示

ACアダプタをコンセントに差し込むときは、確実に差し込んでください。
火災、やけど、感電の原因となります。

指示

電源プラグをコンセントやシガーライターソケットから抜く場合は、アダプタのコードを無理に引っ張らず、アダプタを持って抜いてください。
火災、やけど、感電の原因となります。

電源プラグを抜く

長時間使用しない場合は、電源プラグをコンセントやシガーライターソケットから抜いてください。
火災、やけど、感電の原因となります。

電源プラグを抜く

万が一、水などの液体が入った場合は、直ちにコンセントやシガーライターソケットから電源プラグを抜いてください。
火災、やけど、感電の原因となります。

電源プラグを抜く

お手入れの際は、電源プラグをコンセントやシガーライターソケットから抜いて行ってください。
火災、やけど、感電の原因となります。

◆ドコモUIMカードの取り扱い

⚠注意

指示

ドコモUIMカードを取り外す際は切断面にご注意ください。
けがの原因となります。

◆医用電気機器近くでの取り扱い

■ 本記載の内容は「医用電気機器への電波の影響を防止するための携帯電話端末等の使用に関する指針」（電波環境協議会）に準ずる。

⚠警告

指示

医療機関の屋内では次のことを守って使用してください。
- 手術室、集中治療室（ICU）、冠状動脈疾患監視病室（CCU）にはFOMA端末を持ち込まないでください。
- 病棟内では、FOMA端末の電源を切ってください。
- ロビーなどであっても付近に医用電気機器がある場合は、FOMA端末の電源を切ってください。
- 医療機関が個々に使用禁止、持ち込み禁止などの場所を定めている場合は、その医療機関の指示に従ってください。

指示

満員電車の中など混雑した場所では、付近に植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器を装着している方がいる可能性がありますので、FOMA端末の電源を切ってください。
電波により植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器の作動に悪影響を及ぼす原因となります。

指示

植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器を装着されている場合は、装着部からFOMA端末は22cm以上離して携行および使用してください。
電波により植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器の作動に悪影響を及ぼす原因となります。

指示

自宅療養などにより医療機関の外で、植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器以外の医用電気機器を使用される場合には、電波による影響について個別に医用電気機器メーカなどにご確認ください。
電波により医用電気機器の作動に悪影響を及ぼす原因となります。

◆材質一覧

使用箇所		材 質	表面処理
外装ケース	フロントケース	PA+GF樹脂	UVハードコート
	リアケース	PC+ABS樹脂	UVハードコート
	リアカバー	PC-GF樹脂	UVハードコート
	リアカバーインナー	シリコンゴム	なし
ディスプレイパネル		強化ガラス	飛散防止フィルム
カメラパネル		高強度アクリル樹脂	UVハードコート
IRDAパネル		PMMA樹脂	UVハードコート
フラッシュパネル		PC樹脂	なし
操作キー	キートップ	PC樹脂	UVハードコート
	キーガイド	PC樹脂	UVハードコート
	遮光シート	PET	なし
	キーラバー	シリコンゴム	なし
電源キー		PC+ABS樹脂	UVハードコート
音量ボタン		PC+ABS樹脂	UVハードコート
ストラッププレート		ステンレス鋼	なし
ストラップ固定ネジ		ステンレス鋼	なし
RF端子キャップ		シリコンゴム	なし
外部接続端子キャップ	本体	PC樹脂	UVハードコート
	屈曲部	エラストマー樹脂	なし
	止水部	PC樹脂	なし
	止水ゴム部	シリコンゴム	なし
外部接続端子		ステンレス鋼	錫メッキ
電池端子	本体	LCP樹脂	なし
	端子	チタン銅	金メッキ
ネジ（電池収納部）		ステンレス鋼	なし
電池収納面		プリント基板	金メッキ
電池パック	電池パック本体	PC樹脂	なし
	端子部	ベリリウム銅	金メッキ
充電端子	接点部	ステンレス鋼	金メッキ
	接点ホルダ部	LCP樹脂	なし
ドコモUIMカードトレイ		ABS樹脂	なし

取り扱い上のご注意

◆共通のお願い

- **F-12Cは防水性能を有しておりますが、FOMA端末内部に浸水させたり、付属品、オプション品に水をかけたりしないでください。**
  - 電池パック、アダプタ、卓上ホルダ、ドコモUIMカードは防水性能を有しておりません。風呂場などの湿気の多い場所でのご使用や、雨などがかかることはおやめください。また身に付けている場合、汗による湿気により内部が腐食し故障の原因となります。調査の結果、これらの水濡れによる故障と判明した場合、保証対象外となり修理できないことがありますので、あらかじめご了承ください。なお、保証対象外ですので修理を実施できる場合でも有料修理となります。
- **お手入れは乾いた柔らかい布（めがね拭きなど）で拭いてください。**
  - 乾いた布などで強く擦ると、ディスプレイに傷がつく場合があります。
  - ディスプレイに水滴や汚れなどが付着したまま放置すると、シミになることがあります。
  - アルコール、シンナー、ベンジン、洗剤などで拭くと、印刷が消えたり、色があせたりすることがあります。
- **端子は時々乾いた綿棒などで清掃してください。**
  - 端子が汚れていると接触が悪くなり、電源が切れたり充電不十分の原因となったりしますので、端子を乾いた綿棒などで拭いてください。
    また、清掃する際には端子の破損に十分ご注意ください。
- **エアコンの吹き出し口の近くに置かないでください。**
  - 急激な温度の変化により結露し、内部が腐食し故障の原因となります。
- **FOMA端末や電池パックなどに無理な力がかからないように使用してください。**
  - 多くのものが詰まった荷物の中に入れたり、衣類のポケットに入れて座ったりするとディスプレイ、内部基板、電池パックなどの破損、故障の原因となります。また、外部接続機器を外部接続端子やステレオイヤホン端子に差した状態の場合、コネクタ破損、故障の原因となります。
- **ディスプレイは金属などで擦ったり引っかいたりしないでください。**
  - 傷つくことがあり、故障、破損の原因となります。
- **電池パック、アダプタに添付されている個別の取扱説明書をよくお読みください。**

◆FOMA端末についてのお願い

- **タッチパネルの表面を強く押したり、爪やボールペン、ピンなど先の尖ったもので操作したりしないでください。**
  - タッチパネルが破損する原因となります。
- **極端な高温、低温は避けてください。**
  - 温度は5℃～40℃（ただし、36℃以上はお風呂場などでの一時的な使用に限る）、湿度は45%～85%の範囲でご使用ください。
- **一般の電話機やテレビ・ラジオなどをお使いになっている近くで使用すると、悪影響を及ぼす原因となりますので、なるべく離れた場所でご使用ください。**
- **お客様ご自身でFOMA端末に登録された情報内容は、別にメモを取るなどして保管してくださるようお願いします。**
  - 万が一登録された情報内容が消失してしまうことがあっても、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- **FOMA端末を落としたり、衝撃を与えたりしないでください。**
  - 故障、破損の原因となります。
- **外部接続端子やステレオイヤホン端子に外部接続機器を接続する際に斜めに差したり、差した状態で引っ張ったりしないでください。**
  - 故障、破損の原因となります。
- **使用中、充電中、FOMA端末は温かくなりますが、異常ではありません。そのままご使用ください。**

- **カメラを直射日光の当たる場所に放置しないでください。**
  - 素子の退色・焼付きを起こす場合があります。
- **通常は外部接続端子キャップを閉じた状態でご使用ください。**
  - ほこり、水などが入り故障の原因となります。
- **リアカバーを外したまま使用しないでください。**
  - 電池パックが外れたり、故障、破損の原因となったりします。
- **microSDカードの使用中は、microSDカードを取り外したり、FOMA端末の電源を切ったりしないでください。**
  - データの消失、故障の原因となります。
- **磁気カードなどをFOMA端末に近づけないでください。**
  - キャッシュカード、クレジットカード、テレホンカード、フロッピーディスクなどの磁気データが消えてしまうことがあります。
- **FOMA端末に磁気を帯びたものを近づけないでください。**
  - 強い磁気を近づけると誤動作の原因となります。

◆電池パックについてのお願い

- **電池パックは消耗品です。**
  - 使用状態などによって異なりますが、十分に充電しても使用時間が極端に短くなったときは電池パックの交換時期です。指定の新しい電池パックをお買い求めください。
- **充電は、適正な周囲温度（5℃～35℃）の場所で行ってください。**
- **電池パックの使用時間は、使用環境や電池パックの劣化度により異なります。**
- **電池パックの使用条件により、寿命が近づくにつれて電池パックが膨れる場合がありますが問題ありません。**
- **電池パックを保管される場合は、次の点にご注意ください。**
  - フル充電状態（充電完了後すぐの状態）での保管
  - 電池残量なしの状態（本体の電源が入らない程消費している状態）での保管

  電池パックの性能や寿命を低下させる原因となります。
  保管に適した電池残量は、目安として電池残量が40パーセント程度の状態をお勧めします。

◆アダプタについてのお願い

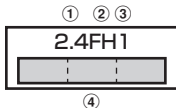
- **充電は、適正な周囲温度（5℃～35℃）の場所で行ってください。**
- **次のような場所では、充電しないでください。**
  - 湿気、ほこり、振動の多い場所
  - 一般の電話機やテレビ・ラジオなどの近く
- **充電中、アダプタが温かくなることがありますが、異常ではありません。そのままご使用ください。**
- **DCアダプタを使用して充電する場合は、自動車のエンジンを切ったまま使用しないでください。**
  - 自動車のバッテリーを消耗させる原因となります。
- **抜け防止機構のあるコンセントをご使用の場合、そのコンセントの取扱説明書に従ってください。**
- **強い衝撃を与えないでください。また、充電端子を変形させないでください。**
  - 故障の原因となります。

◆ドコモUIMカードについてのお願い

- **ドコモUIMカードの取り付け／取り外しには、必要以上に力を入れないでください。**
- **他のICカードリーダー／ライターなどにドコモUIMカードを挿入して使用した結果として故障した場合は、お客様の責任となりますので、ご注意ください。**
- **IC部分はいつもきれいな状態でご使用ください。**
- **お手入れは、乾いた柔らかい布（めがね拭きなど）で拭いてください。**
- **お客様ご自身でドコモUIMカードに登録された情報内容は、別にメモを取るなどして保管してくださるようお願いします。**
  - 万が一登録された情報内容が消失してしまうことがあっても、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- **環境保全のため、不要になったドコモUIMカードはドコモショップなど窓口にお持ちください。**

- **ICを傷つけたり、不用意に触れたり、ショートさせたりしないでください。**
  - データの消失、故障の原因となります。
- **ドコモUIMカードを落としたり、衝撃を与えたりしないでください。**
  - 故障の原因となります。
- **ドコモUIMカードを曲げたり、重いものをのせたりしないでください。**
  - 故障の原因となります。
- **ドコモUIMカードにラベルやシールなどを貼った状態で、FOMA端末に取り付けないでください。**
  - 故障の原因となります。

◆Bluetooth機能を使用する場合のお願い

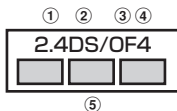
- **FOMA端末は、Bluetooth機能を使用した通信時のセキュリティとして、Bluetooth標準規格に準拠したセキュリティ機能に対応しておりますが、設定内容などによってセキュリティが十分でない場合があります。Bluetooth機能を使用した通信を行う際にはご注意ください。**
- **Bluetooth機能を使用した通信時にデータや情報の漏洩が発生しましても、責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。**
- **FOMA端末では、ヘッドセット、ハンズフリー、オーディオ、キーボード、データ転送、シリアルポートを利用できます。また、オーディオではオーディオ／ビデオリモートコントロールも利用できる場合があります（対応しているBluetooth機器のみ）。**
- **周波数帯について**
  FOMA端末のBluetooth機能が使用する周波数帯は次のとおりです。

① 2.4：2400MHz帯を使用する無線設備を表します。
② FH：変調方式がFH-SS方式であることを示します。
③ 1：想定される与干渉距離が10m以下であることを示します。
④ ［帯域表示］：2400MHz～2483.5MHzの全帯域を使用し、かつ移動体識別装置の帯域を回避不可であることを意味します。

Bluetooth機器使用上の注意事項
本製品の使用周波数帯では、電子レンジなどの家電製品や産業・科学・医療用機器のほか、工場の製造ラインなどで使用される免許を要する移動体識別用構内無線局、免許を要しない特定小電力無線局、アマチュア無線局など（以下「他の無線局」と略します）が運用されています。

1. 本製品を使用する前に、近くで「他の無線局」が運用されていないことを確認してください。
2. 万が一、本製品と「他の無線局」との間に電波干渉が発生した場合には、速やかに使用場所を変えるか、「電源を切る」など電波干渉を避けてください。
3. その他、ご不明な点につきましては、本書裏面の「総合お問い合わせ先」までお問い合わせください。

◆無線LAN（WLAN）についてのお願い

- **無線LAN(WLAN)は、電波を利用して情報のやり取りを行うため、電波の届く範囲であれば自由にLAN接続できる利点があります。その反面、セキュリティの設定を行っていないときは、悪意ある第三者に通信内容を盗み見られたり、不正に侵入されてしまう可能性があります。お客様の判断と責任において、セキュリティの設定を行い、使用することを推奨します。**

- **無線LANについて**
  電気製品・AV・OA機器などの磁気を帯びているところや電磁波が発生しているところで使用しないでください。
  - 磁気や電気雑音の影響を受けると雑音が大きくなったり、通信ができなくなることがあります（特に電子レンジ使用時には影響を受けることがあります）。
  - テレビ、ラジオなどに近いと受信障害の原因となったり、テレビ画面が乱れることがあります。
  - 近くに複数の無線LANアクセスポイントが存在し、同じチャンネルを使用していると、正しく検索できない場合があります。
- **周波数帯について**
  WLAN搭載機器が使用する周波数帯は、端末本体の電池パック挿入部に記載されています。ラベルの見かたは次のとおりです。

① 2.4：2400MHz帯を使用する無線設備を表します。
② DS：変調方式がDS-SS方式であることを示します。
③ OF：変調方式がOFDM方式であることを示します。
④ 4：想定される与干渉距離が40m以下であることを示します。
⑤ ■■■：2400MHz～2483.5MHzの全帯域を使用し、かつ移動体識別装置の帯域を回避可能であることを意味します。

利用可能なチャンネルは国により異なります。
WLANを海外で利用する場合は、その国の使用可能周波数、法規制などの条件を確認の上、ご利用ください。
航空機内の使用は、事前に各航空会社へご確認ください。

2.4GHz機器使用上の注意事項
WLAN搭載機器の使用周波数帯では、電子レンジなどの家電製品や産業・科学・医療用機器のほか工場の製造ラインなどで使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）および特定小電力無線局（免許を要しない無線局）ならびにアマチュア無線局（免許を要する無線局）が運用されています。

1. この機器を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局および特定小電力無線局ならびにアマチュア無線局が運用されていないことを確認してください。
2. 万が一、この機器から移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに使用周波数を変更するかご利用を中断していただいた上で、本書裏面の「総合お問い合わせ先」までお問い合わせいただき、混信回避のための処置など（例えば、パーティションの設置など）についてご相談ください。
3. その他、この機器から移動体識別用の特定小電力無線局あるいはアマチュア無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きたときは、本書裏面の「総合お問い合わせ先」までお問い合わせください。

◆FeliCaリーダー／ライターについて

- **FOMA端末のFeliCaリーダー／ライター機能は、無線局の免許を要しない微弱電波を使用しています。**
- **使用周波数は13.56MHz帯です。周囲で他のリーダー／ライターをご使用の場合、十分に離してお使いください。また、他の同一周波数帯を使用の無線局が近くにないことを確認してお使いください。**

◆注意

- **改造されたFOMA端末は絶対に使用しないでください。改造した機器を使用した場合は電波法に抵触します。**
  FOMA端末は、電波法に基づく特定無線設備の技術基準適合証明などを受けており、その証として「技適マーク〒」がFOMA端末の銘版シールに表示されております。
  FOMA端末のネジを外して内部の改造を行った場合、技術基準適合証明などが無効となります。
  技術基準適合証明などが無効となった状態で使用すると、電波法に抵触しますので、絶対に使用されないようにお願いいたします。
- **自動車などを運転中の使用にはご注意ください。**
  運転中の携帯電話を手で保持しての使用は罰則の対象となります。
  ただし、傷病者の救護または公共の安全の維持など、やむを得ない場合は対象外となります。
- **Bluetooth機能は日本国内で使用してください。**
  FOMA端末のBluetooth機能は日本国内での無線規格に準拠し認定を取得しています。
  海外でご使用になると罰せられることがあります。
- **FeliCaリーダー／ライター機能は日本国内で使用してください。**
  FOMA端末のFeliCaリーダー／ライター機能は日本国内での無線規格に準拠しています。
  海外でご使用になると罰せられることがあります。

防水性能

F-12Cは、外部接続端子キャップをしっかりと閉じ、リアカバーを確実に取り付けた状態で、IPX5※1、IPX8※2の防水性能を有しています。

※1 IPX5とは、内径6.3mmの注水ノズルを使用し、約3mの距離から12.5L/分の水を最低3分間注水する条件であらゆる方向から噴流を当てても、電話機としての機能を有することを意味します。

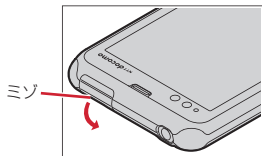
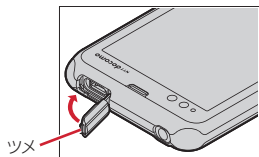
※2 F-12CにおけるIPX8とは、常温で水道水、かつ静水の水深1.5mの所にF-12Cを静かに沈め、約30分間放置後に取り出したときに電話機としての機能を有することを意味します。（水中においてカメラ機能は使用できません。）

❖F-12Cが有する防水性能でできること

- **1時間の雨量が20mm程度の雨の中で、傘をささずに通話ができます。**
  - 手が濡れているときやFOMA端末に水滴がついているときには、リアカバーの取り付け／取り外し、外部接続端子キャップの開閉はしないでください。
- **水深1.5mのプールの中に沈めることができます。**
  - 水中で操作しないでください。
  - プールの水に浸けるときは、30分以内としてください。
  - プールの水がかかったり、プールの水に浸けたりした場合は、後述の方法で洗い流し、所定の方法（→P17）で水抜きしてください。
- **お風呂場で使用できます。**
  - 湯船には浸けないでください。また、お湯の中で使用しないでください。故障の原因となります。
  - 温泉や石鹸、洗剤、入浴剤の入った水には絶対に浸けないでください。
- **洗面器などに張った静水につけて、ゆすりながら汚れを洗い流すことができます。**
  - 洗うときはリアカバーを確実に取り付けた状態で、外部接続端子キャップが開かないように押さえたまま、ブラシやスポンジなどは使用せず洗ってください。

◆防水性能を維持するために

水の浸入を防ぐために、必ず次の点を守ってください。

- 常温の水道水以外の液体をかけたり、浸けたりしないでください。
- 外部接続端子を使用するときには、下図に示すミゾに指を掛けてキャップを開けてください。

また、外部接続端子使用後は下図に示す方向にキャップを閉じ、ツメを押し込んでキャップの浮きがないことを確認してください。

- リアカバーの取り付けかたは、「電池パックの取り付け／取り外し」の「電池パックの取り付け」の④⑤をご覧ください。→P23
- リアカバーは浮きがないように確実に取り付け、外部接続端子キャップはしっかりと閉じてください。接触面に微細なゴミ（髪の毛1本、砂粒1つ、微細な繊維など）が挟まると、浸水の原因となります。
- マイク（送話口）、受話口、スピーカーなどを綿棒や尖ったものでつつかないでください。
- 落下させないでください。傷の発生などにより防水性能の劣化を招くことがあります。
- 外部接続端子キャップ、リアカバー裏面のゴムパッキンは防水性能を維持する上で重要な役割を担っています。リアカバーをねじるなどして変形させたり、ゴムパッキンをはがしたり傷つけたりしないでください。また、ゴミが付着しないようにしてください。

防水性能を維持するため、異常の有無に関わらず必ず2年に1回、部品の交換が必要となります。部品の交換はFOMA端末をお預かりして有料にて承ります。ドコモ指定の故障取扱窓口にお持ちください。

◆ご使用にあたっての注意事項

次のイラストで表すような行為は行わないでください。

〈例〉

石鹸／洗剤／入浴剤をつける

ブラシ／スポンジで洗う

洗濯機で洗う

強すぎる水流を当てる

海水につける

温泉で使う

砂／泥をつける

また、次の注意事項を守って正しくお使いください。

- 付属品、オプション品は防水性能を有していません。付属の卓上ホルダにFOMA端末を差し込んだ状態で動画再生などをする場合、ACアダプタを接続していない状態でも、お風呂場、シャワー室、台所、洗面所などの水周りでは使用しないでください。

- 規定（→P15）以上の強い水流（例えば、蛇口やシャワーから肌に当てて痛みを感じるほどの強さの水流）を直接当てないでください。F-12CはIPX5の防水性能を有していますが、内部に水が入り、感電や電池の腐食などの原因となります。
- 熱湯に浸けたり、サウナで使用したり、温風（ドライヤーなど）を当てたりしないでください。
- FOMA端末を水中で移動させたり、水面に叩きつけたりしないでください。
- 水道水やプールの水に浸けるときは、30分以内としてください。
- プールで使用するときは、その施設の規則を守って、使用してください。
- FOMA端末は水に浮きません。
- 水滴が付着したまま放置しないでください。電源端子がショートしたり、寒冷地では凍結したりして、故障の原因となります。
- マイク（送話口）、受話口、スピーカーに水滴を残さないでください。通話不良となる恐れがあります。
- リアカバーが破損した場合は、リアカバーを交換してください。破損箇所から内部に水が入り、感電や電池の腐食などの故障の原因となります。
- 外部接続端子キャップやリアカバーが開いている状態で水などの液体がかかった場合、内部に液体が入り、感電や故障の原因となります。そのまま使用せずに電源を切り、電池パックを外した状態でドコモ指定の故障取扱窓口へご連絡ください。
- 外部接続端子キャップやリアカバー裏面のゴムパッキンが傷ついたり、変形したりした場合は、ドコモ指定の故障取扱窓口にてお取替えください。

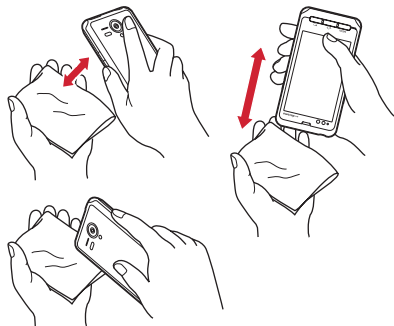
実際の使用にあたって、すべての状況での動作を保証するものではありません。また、調査の結果、お客様の取り扱いの不備による故障と判明した場合、保証の対象外となります。

◆水抜きについて

FOMA端末を水に濡らすと、拭き取れなかった水が後から漏れてくることがありますので、下記の手順で水抜きを行ってください。

① FOMA端末をしっかりと持ち、表面、裏面を乾いた清潔な布などでよく拭き取ってください。

② FOMA端末をしっかりと持ち、20回程度水滴が飛ばなくなるまで振ってください。

③ マイク（送話口）、受話口、スピーカー、キー、充電端子などの隙間に溜まった水は、乾いた清潔な布などにFOMA端末を10回程度振るように押し当てて拭き取ってください。

④ FOMA端末から出てきた水分を乾いた清潔な布などで十分に拭き取り、自然乾燥させてください。

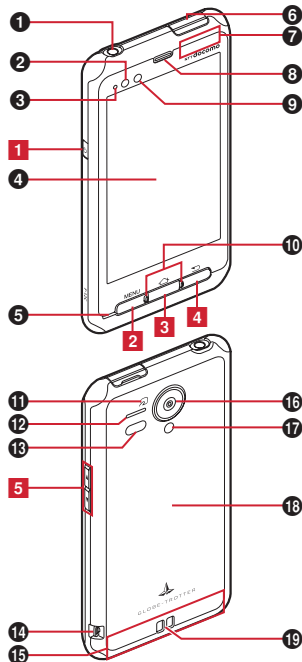
- 水を拭き取った後に本体内部に水滴が残っている場合は、水が染み出ることがあります。
- 隙間に溜まった水を綿棒などで直接拭き取らないでください。

◆充電のときには

充電時、および充電後には、必ず次の点を確認してください。

- 充電時は、FOMA端末が濡れていないか確認してください。FOMA端末が濡れている状態では、絶対に充電しないでください。
- 付属品、オプション品は防水性能を有していません。
- FOMA端末が濡れている場合や水に濡れた後に充電する場合は、よく水抜きをして乾いた清潔な布などで水を拭き取ってから、付属の卓上ホルダに差し込んだり、外部接続端子キャップを開いたりしてください。
- 外部接続端子キャップを開いて充電した場合には、充電後はしっかりとキャップを閉じてください。なお、外部接続端子からの浸水を防ぐため、卓上ホルダを使用して充電することをおすすめします。
- ACアダプタ、卓上ホルダは、お風呂場、シャワー室、台所、洗面所などの水周りや水のかかる場所で使用しないでください。火災や感電の原因となります。
- 濡れた手でACアダプタ、卓上ホルダに触れないでください。感電の原因となります。

ご使用前の確認と設定

各部の名称と機能

〈各部の機能〉

❶ **ステレオイヤホン端子（防水）**
市販のステレオイヤホンを接続

❷ **近接センサー**
通話中にタッチパネルの誤動作を防ぐ
※ 近接センサー部分に保護シートやシールなどを貼り付けると、近接センサーが誤動作する場合があります。

❸ **お知らせLED**
赤色点灯：充電中（緑色点滅時を除く）
緑色点滅：電話着信中や不在着信通知、新着／未読メールがあるときなど
緑色1回点灯：電源オン

❹ **ディスプレイ（タッチパネル）**
指で触れて機能の操作や情報の表示

❺ **送話口（マイク）**
自分の声をここから送る、録音時のマイク

❻ **外部接続端子**
付属のFOMA 充電microUSB変換アダプタT01やPC接続用USBケーブルT01などの接続

❼ **GPSアンテナ部**
※ アンテナは本体に内蔵されています。アンテナ付近を手で覆うと品質に影響を及ぼす場合があります。

❽ **受話口**
相手の声をここから聞く

❾ **照度センサー**
周囲の明るさを検知して、ディスプレイのバックライトの明るさを自動調節
※ ふさぐと、正しく調整されない場合があります。

❿ **キーバックライト**
照度センサーによって暗所と判定されると、ロック画面が表示されたときや、ホーム画面やアプリケーションメニューでキーを押したときに点灯します。
※ 明るい場所でキーを押してから、すぐに暗い場所に移動してキーを押すとキーバックライトが点灯しないことがあります。その場合は一定時間経過してから再度キーを押すと点灯します。

⑪ マーク
ICカードの搭載
※ マークを読み取り機にかざしておサイフケータイを利用したり、対応するアプリケーションをダウンロードするとiC通信でデータを送受信したりできます。なお、ICカードは取り外せません。
⑫ **スピーカー**
着信音や音楽の再生音、スピーカーフォン利用中に相手の声などをここから聞く
⑬ **赤外線ポート**
⑭ **ストラップホール**
⑮ **FOMAアンテナ部**
※ アンテナは本体に内蔵されています。アンテナ付近を手で覆うと品質に影響を及ぼす場合があります。
⑯ **カメラ**
静止画や動画の撮影
⑰ **カメラライト**
撮影時にフラッシュライトとして点灯
⑱ **リアカバー**
※ リアカバーを外して、電池パックを取り外すと、ドコモUIMカードスロットとmicroSDカードスロットがあります。
※ リアカバーの裏面には、防水のためのゴムパッキンがついています。
⑲ **充電端子**
付属の卓上ホルダを使用して充電するときの端子

〈キーの機能〉
キーを押して動作する機能は次のとおりです。

1 **電源キー** ⏻
押す：スリープモードの設定／解除
長く押す：電源を入れる、マナーモード、公共モード、機内モードの設定／解除、電源を切る、再起動
2 **メニューキー** MENU
押す：現在の画面で使用できるオプションメニューの表示
1秒以上押す：文字入力時はキーボードの表示／非表示
3 **ホームキー** ⌂
押す：ホーム画面に戻る
1秒以上押す：最近使用したアプリケーションの表示
4 **バックキー** ↩
押す：直前の画面に戻る
5 **音量ボタン**▲▼
押す：受話音量、着信音量、音楽再生などの音量調節
▼を1秒以上押す：マナーモードの設定／解除

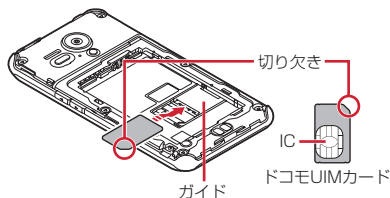
ドコモUIMカード

ドコモUIMカードとは、電話番号などのお客様情報を記録できるカードです。
- ドコモUIMカードを正しく取り付けていない場合や、ドコモUIMカードに異常がある場合は、電話の発着信やメールの送受信などはできません。
- 本FOMA端末では、ドコモUIMカードに電話番号を登録できません。
- ドコモUIMカードについて詳しくは、ドコモUIMカードの取扱説明書をご覧ください。

◆ ドコモUIMカードの取り付け／取り外し

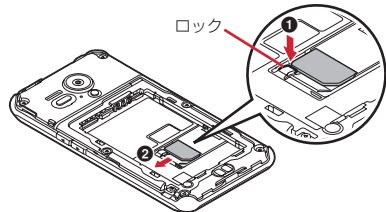
- ドコモUIMカードの取り付け／取り外しは、FOMA端末の電源を切り、リアカバーと電池パックを取り外してから行います。→P22

❖ ドコモUIMカードの取り付け

1 ドコモUIMカードのIC面を下にして、ガイドの中に差し込む

❖ ドコモUIMカードの取り外し

1 指でロックを押しながら(❶)、ドコモUIMカードを❷の方向に2～3mm引き出す

2 ロックから指を離し、ドコモUIMカードを軽く押さえながら❷の方向へスライドさせる

- このときドコモUIMカードを下方向に強く押し付けないでください。

microSDカード

◆ microSDカードについて

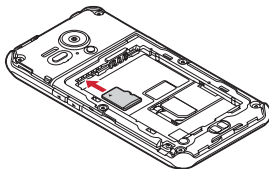
FOMA端末にmicroSDカードまたはmicroSDHCカードを取り付けてご使用ください。取り付けていない場合、カメラ、音楽や動画（再生やダウンロード）など一部の機能がご利用になれません。

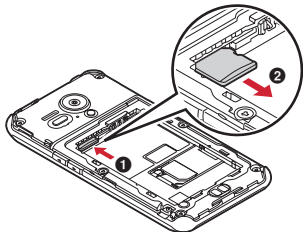
- 本FOMA端末は、2GBまでのmicroSDカードと32GBまでのmicroSDHCカードに対応しています（2011年7月現在）。ただし、市販されているすべてのmicroSDカードおよびmicroSDHCカードの動作を保証するものではありません。
- microSDカードのデータにアクセスしているときに、電源を切ったり衝撃を与えたりしないでください。データが壊れる恐れがあります。

◆ microSDカードの取り付け／取り外し

- お買い上げ時は、あらかじめmicroSDカード（試供品）が取り付けられています。ご使用前に、microSDカード（試供品）の取扱説明書もご覧ください。

❖ microSDカードの取り付け

① microSDカードの金属端子面を下にして、図の向きで挿入口にロックするまで差し込む

❖microSDカードの取り外し

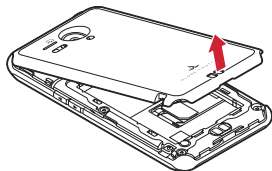
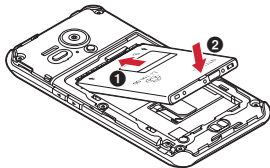
① microSDカードを軽く押し込んでから（❶）離す
② microSDカードをまっすぐ引き出す（❷）

電池パック

◆ 電池パックの取り付け／取り外し

- 電池パックの取り付け／取り外しは、電源を切ってから行ってください。
- リアカバーの取り付け／取り外しは、FOMA端末のディスプレイなどが傷つかないよう、手に持って行ってください。
- FOMA端末が濡れているときは、水分をよく拭きとってから、リアカバーを取り外してください。
- 本FOMA端末専用の電池パック F21をご利用ください。

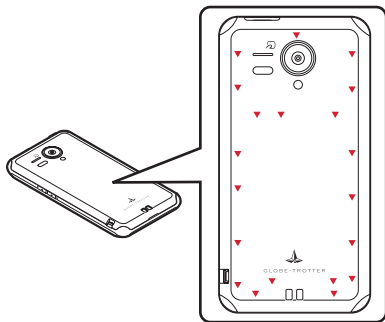
❖電池パックの取り付け

① リアカバー取り外し部に爪をかける

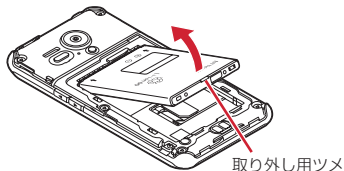
② リアカバーを矢印の方向に垂直に持ち上げながら、はがすように取り外す
- 防水性能を維持するため、リアカバーはしっかりと取り付ける構造となっています。取り外しにくい場合は、力を入れて取り外してください。

③ 電池パックのラベル面を上にして、電池パックの金属端子をFOMA端末の金属端子に合わせて❶の方向に差し込みながら、❷の方向に取り付ける

④ **リアカバーの向きを確認し、本体に合わせるように装着する**

⑤ **リアカバー裏のツメとFOMA端末のミゾを合わせて▼部分をしっかりと押して、完全に閉める**

- 防水性能を維持するために、浮いている箇所がないことを確認しながら確実に取り付けてください。

※「防水性能」について→P15

❖電池パックの取り外し

① **電池パックの取り付けの操作①と操作②を行う**

② **電池パックの取り外し用ツメをつまんで、矢印の方向に持ち上げて取り外す**

充電

お買い上げ時は、電池パックは十分に充電されていません。必ず充電してからお使いください。

◆ 卓上ホルダを使って充電

FOMA ACアダプタ01／02（別売）、付属のFOMA充電microUSB 変換アダプタ T01と卓上ホルダ F34を使って充電します。

① ACアダプタのコネクタを、充電microUSB変換アダプタの外部接続端子に差し込む

② 充電microUSB変換アダプタのmicroUSBプラグを卓上ホルダ裏側の端子へ差し込む

③ ACアダプタの電源プラグを起こし、AC100Vコンセントへ差し込む

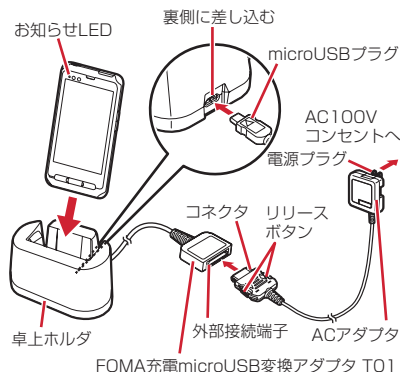
④ FOMA端末を卓上ホルダに差し込む

- 充電中はお知らせLEDが赤く点灯し、充電が完了すると消灯します

⑤ 充電が終わったら、FOMA端末を卓上ホルダから取り外す

⑥ 卓上ホルダから充電microUSB変換アダプタのmicroUSBプラグを抜き、充電microUSB変換アダプタの外部接続端子からACアダプタのコネクタを抜く

- コネクタのリリースボタンを押しながら、水平に引き抜きます。

⑦ ACアダプタの電源プラグをコンセントから抜く

電源ON／OFF

◆ 電源を入れる

1 お知らせLEDが緑色に点灯するまで、⏻を押したままにする（約2秒）

起動画面に続いて誤操作防止用のロック画面が表示されます。

2 ロック画面下の🔒を左または右にスライド

❖初めて電源を入れたときは

初めて電源を入れたときは、ソフトウェア更新機能の確認画面で［OK］をタップし、「はじめに」の画面から初期設定ができます。設定した内容は後から変更できます。→P26

1 各項目の［設定］→画面に従って項目を設定

2 設定が完了したら、「はじめに」の画面で ⌂ または ↩

◆ 電源を切る

1 携帯電話オプションメニューが表示されるまで、⏻を押したままにする

2 ［電源を切る］→［OK］

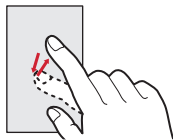
バイブレータが1回振動したあと、電源が切れます。

基本操作（タッチパネルの使いかた）

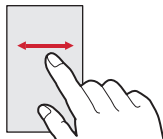
本FOMA端末のディスプレイはタッチパネルになっており、指で直接触れて操作します。また、FOMA端末の向きや動きを検知するモーションセンサーによって、FOMA端末を縦または横に傾けて、画面表示を切り替えることができます。

◆ 主な操作

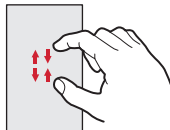
❖ タップ／1秒以上タッチ

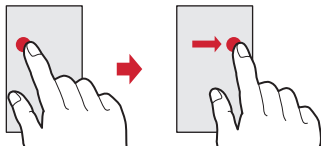
タップ：画面の項目やアイコンを指で軽く叩きます。画面から指を離した時点で、行った操作が有効になります。
ダブルタップ：すばやく2回続けてタップします。ダブルタップするたびに、Webページや静止画などの表示画面を拡大／縮小します。
1秒以上タッチ※：画面の項目やアイコンを指で1秒以上触れてから離します。画面から指を離した時点で、行った操作が有効になります。操作によっては、1秒以上触れてから指を離さないままで次の操作をする場合があります。
※ 操作の説明では「（1秒以上）」と記載することがあります。

例：タップ

❖ スライド／フリック

スライド：画面に指を軽く触れたまま、目的の方向に動かします。
フリック：画面を左右にすばやく指を払います。複数のページやデータがあるときの前後の画面の切り替えなどで使います。

例：スライド

❖ ピンチ

画面を2本の指で触れたまま、2本の指の間隔を広げたり（ピンチアウト）、狭くしたり（ピンチイン）します。
- Webページや静止画などの表示画面の拡大／縮小で使います。

❖ ドラッグ

画面の項目やアイコンを指で触れたまま目的の位置に移動します。

初期設定

FOMA端末を使うために最初に設定が必要な項目をまとめて設定できます。
- 各設定はいつでも変更できます。

1 ホーム画面でMENU→[設定]→[初期設定]

2 各項目を設定

歩数計：歩数計を使うための情報を設定します。
あわせるボイス：あわせるボイスを使うための年齢情報を設定します。
画面ロック：画面ロックについて設定します。
ホーム壁紙：ホーム画面の壁紙を設定します。
フォトスクリーン：ロック画面の画像を設定します。
電話帳コピー：電話帳のコピーをします。
Googleアカウント：Googleアカウントを設定します。

❖その他の初期設定について

初期設定の項目以外にも、必要に応じて、次の項目を設定してください。
- Eメールのアカウントの設定→P43
- Wi-Fi機能の設定→P41
- アクセスポイント（APN）の設定→P40

画面表示／アイコン

◆ ステータスバーのアイコン

ステータスバーに表示される通知アイコンとステータスアイコンで様々な状態を確認できます。

■ 主な通知アイコン

：新着Gmail
：新着Eメール
：新着spモードメール
：新着SMS、エリアメール
：SMSの送信失敗
：伝言メッセージ
：新着インスタントメッセージ
：カレンダーの通知
：アラームスヌーズ中
：楽曲再生中
：同期トラブル
：Wi-FiがオンでWi-Fiネットワークが利用可能
：Wi-Fiテザリングが有効
：Bluetooth通信でファイル着信
：USB接続中
：通話中
：不在着信
：通話保留中
：データのアップロード完了
：データのダウンロード完了
：Androidマーケットなどからのアプリケーションがインストール完了
：Androidマーケットのアプリケーションがアップデート可能
：隠れた通知
：microSDカード未挿入
：microSDカードのマウント解除

：イヤホン接続中（端末のマイク）
：イヤホン接続中（イヤホンマイク）
：通知アイコン（ソフトウェア更新有）
：通知アイコン（ソフトウェア更新完了）

■ 主なステータスアイコン

※：電波状態
※：ローミング中
：圏外
※／※（矢印がグレー）：GPRS接続中／使用中
※／※（矢印がグレー）：3G（パケット）接続中／使用中
：機内モード
※：Wi-Fi接続中
：Bluetooth機能オン
：Bluetooth機器接続中
：データ同期中
：おサイフケータイ ロック設定中
：ドコモUIMカード未挿入
：アラーム設定中
：スピーカーフォンオン
：マイクミュート
：着信音量0
：バイブレーションオン
：公共モード（ドライブモード）
：マナーモード
：マナー（サイレント）
：マナー（アラーム）
：オリジナルマナー
：要充電
：電池残量が少ない
：電池残量十分
：充電中
：GPS測位中
：ATOKのかな入力モード
：ATOKの英数字入力モード
：ATOKの数字入力モード
：ATOKの絵文字／顔文字／記号、定型文、文字コード入力

※Googleアカウントでログインしているときに、緑色で表示されます。

ホーム画面

ホーム画面はアプリケーションを使用するためのスタート画面です。[⌂]を押していつでも呼び出すことができます。

- 5つのホーム画面を左右にスライドまたはフリックして切り替えて使用できます。

◆ ホーム画面の見かた

① ステータスバー→P26
FOMA端末の各種状態などをアイコンでお知らせします。

② カスタマイズエリア→P28
ホーム画面のカスタマイズが可能な領域です。
ショートカット、ウィジェット、フォルダ、壁紙、アプリ履歴を配置できます。お買い上げ時に表示されている項目は削除できます。

③ 電話／不在着信／通話中
タップすると電話をかけることができます。
不在着信の件数が表示されているときにタップすると通話履歴を表示します。
通話中の表示のときは、タップすると通話画面に切り替えることができます。

④ アプリ履歴
アプリケーションメニューから起動したアプリケーションのうち直近の3件が表示されます。タップするとアプリケーションを起動できます。
- ホーム画面のカスタマイズエリアにショートカットで表示されているアプリケーションは表示されません。

⑤ ホーム画面の位置
5つのホーム画面のうち現在何番目の画面が表示されているかを表示します。

⑥ メール／新着メール
タップすると新着種別の設定に従ってspモードメール、Eメール、SMSのいずれかが起動します。新着メールがある場合は✉でお知らせします。

⑦ アプリ起動
タップするとアプリケーション一覧を表示します。1秒以上タッチすると、5つのパネルが表示され、ホーム画面を切り替えることができます。

◆ ホーム画面のカスタマイズ

ホーム画面に好みのアプリケーションのショートカットやウィジェットを自由に配置できます。

❖ショートカットやウィジェットの追加

1 ホーム画面で MENU →[ホーム編集]

編集画面に切り替わります。
- 左右にスライドまたはフリックしてカスタマイズするホーム画面を切り替えることができます。

2 [追加]→[ショートカット]／[ウィジェット]／[フォルダ]／[アプリ履歴]→項目を選択

ホーム画面に選択した項目が貼り付けられます。
- ［アプリ履歴］をタップしたときは、項目は選択しません。
- 貼り付けた項目はドラッグして位置を変更したり、🗑に入れて削除できます。
- ホーム画面でカスタマイズエリアを1秒以上タッチしても追加メニューを表示できます。

3 [完了]

✔**お知らせ**
- 短縮ダイヤルのウィジェットを2つ以上貼り付けても、登録できる件数は最大4件です。すべての短縮ダイヤルのウィジェットが連動して同じに内容になります。

❖ショートカットやウィジェットの削除

1 ⌂ →左右にスライドしてカスタマイズしたいホーム画面を表示

2 削除するショートカットやウィジェットを選択(1秒以上)→そのまま🗑にドラッグ

アプリケーション画面

アプリケーションメニューを呼び出し、登録されているアプリケーションを起動したり、FOMA端末の設定を変更したりできます。

◆ アプリケーションメニューの表示

1 ホーム画面で▦

アプリケーションメニュー

リスト表示／タイル表示の切り替え：[リスト] または [タイル]

ソートして表示：［ソート］→［名前順］／［ダウンロード順］／［利用頻度順］／［カスタマイズ順（編集に従う）］
ページ切り替え：タイル表示のときは左右にスクロール、リスト表示のときは上下にスクロール

❖アプリケーションメニューを閉じる

1 ［ホーム］または［戻る］

◆アプリケーション一覧

お買い上げ時に登録されているアプリケーションは次のとおりです。
- アプリケーションによっては、ダウンロード、インストールが必要な場合があります。

@Fｹｰﾀｲ応援団：@Fｹｰﾀｲ応援団のサイトに接続します。
Amazon JP：Amazon.co.jpで簡単に買物ができます。キーワード検索などの便利な機能満載のアプリです。
ANA旅達：ANAの情報サイト「旅達空間」の旅のクチコミを楽しめるアプリです。
BeeTV：BeeTVは、ケータイ専用の放送局です。有料会員登録を行うと、BeeTV内の全番組を視聴できます。
BOOKストア 2Dfacto：本格的な文芸書、人気のコミック、話題のビジネス書など、数多くのジャンルの電子書籍を購入、閲覧できる電子書籍ストアです。
docomo災害用伝言板：災害用伝言板アプリです。災害時の安否登録、確認ができます。
ecoモード：電池の消費を抑えるecoモードを利用できます。電池残量に応じて自動でONにしたり、ウィジェットから簡単に設定を変更したりできます。
Evernote：EvernoteはWebサイトの内容や撮影した画像、アイデアのメモなど、様々な情報をサーバーに保存し、必要なときに検索・閲覧できるサービスです。情報の保存や閲覧はFOMA端末だけでなく、パソコンやその他デバイスからも行えます。
※ 本アプリケーションのご利用には、Evernoteアカウントの作成が必要です。
F-LINK：撮影した静止画や動画をワイヤレスで簡単にパソコンに取り込んで楽しむことができます。
Facebook：Facebookにログインできます。
Gmail：Googleアカウントのメールを送受信できます。
GREE：2,500万人以上のユーザーがコミュニケーションや無料ゲームを楽しんでいるGREEの公式アプリケーションです。
Gガイド番組表：地上波テレビやBSデジタル放送の番組表が閲覧できるアプリです。キーワードやジャンルによる番組検索も可能です。
HOT PEPPER：お店情報をサクサク検索できる最新の検索技術満載の飲食店検索アプリです。また、お得なクーポンも検索できます。
iD設定アプリ：iDは、お店の読み取り機にかざすだけでお支払いができる電子マネーです。簡単な設定ですぐにiDが使えます。
ｉチャネル：天気やニュースなど様々な情報を配信します。自動的に受信した最新の情報がホーム画面のウィジェット上に表示されます。
※ ｉチャネルはお申し込みが必要な有料サービスです。
JAL 国内線：その場ですばやく国内線航空券を予約・購入したり、事前に発着状況をチェックできるJAL国内線専用アプリです。
Latitude：地図上で友だちと位置を確認しあうことができます。
mixi：友だちの近況チェックや写真の共有など、よりスマートに、より楽しくコミュニケーションできる2,200万人が利用する「mixi」の公式アプリです。
Mobage：大人気ゲームを楽しめるMobage（モバゲー）のアプリです。
NX!input powered by ATOK：ATOKの各種設定をします。
spモードメール：ｉモードのメールアドレス（@docomo.ne.jp）を利用して、メールの送受信ができます。
SUUMO：賃貸物件、売買物件、リフォーム／注文住宅を手掛ける会社や実例を検索できる不動産検索の定番アプリです。

ThinkFree Office：Microsoft officeファイル、Acrobatファイルの閲覧ができるアプリです。

Twitter：Twitterのクライアントアプリです。サイト上に短いメッセージを公開して、他の人とコミュニケーションをとることができます。

Twonky Mobile Special：スマートフォン内やインターネット上の動画・写真・音楽を、DLNA対応のTVやオーディオにワイヤレス再生することができます。

※ インターネット上のコンテンツをご利用になる場合には、インターネットへ接続可能なアクセスポイントが必要です。

YouTube：YouTubeの動画を見ることができます。

VirusScan：悪質なアプリから端末を保護するウィルススキャン機能を搭載したアプリです。

アプリランキング：スマートフォンユーザー5万人を対象に調査した「アプリ満足度ランキング」をはじめ、日々、続々とリリースされる、Androidアプリをオリコンならではの視点でわかりやすく紹介するアプリです。

おサイフケータイ：お店などの読み取り機にFOMA端末をかざすだけでお支払いなどができます。

カメラ：静止画を撮影します。→P46

カレンダー：カレンダーの表示とスケジュールの登録ができます。

ギャラリー：カメラで撮影したり、Webページからダウンロードして、microSDカードに保存した静止画や動画を表示できます。→P46

しゃべってカンタン操作：電話やメールなどのアプリケーションや設定メニューなどを音声で呼び出します。呼び出すキーワードの編集もできます。

じゃらん：2万軒以上の宿泊施設や、「宿泊プラン」を検索することができる（株）リクルートが提供する、旅行情報サイト「じゃらんnet」のアプリです。

ジョルテ：システム手帳のようにスケジュール管理ができます。

ダウンロード：サイトからダウンロードした画像などを管理できます。

タスクマネージャ：実行中のアプリケーションを表示し、終了させることができます。

トーク：Googleトークを利用してチャットができます。

ドコモマーケット：アプリも動画も探せるドコモマーケットにアクセスすることができます。

ドコモ海外利用：海外でのパケット通信の利用や海外パケット定額サービスの設定・確認をサポートします。

トルカ：店舗情報やクーポン券などのトルカを表示、検索、更新ができます。

ナビ：Googleマップナビを利用して、目的地までのルートを検索できます。

バーコードリーダー：バーコードの情報を読み取ります。

ブラウザ：パソコンと同じようにWebページを閲覧できます。→P45

プレイス：Googleプレイスを利用して、近くの場所の詳細情報を検索できます。

プロフィール情報：電話番号（ご契約電話番号）の確認や、名前やメールアドレスなどの登録ができます。

ヘルスチェッカー：歩数、歩行距離、消費カロリー、脂肪燃焼量、活動量等を表示します。

ホーム画面切替：ホーム画面を切り替えます。

ポンパレ：チケットの共同購入ができます。

マーケット：Androidマーケットを利用します。

マクドナルド：マクドナルドの会員向けクーポンや店舗検索機能が使えるアプリです。

マップ：現在地の表示や別の場所の検索、ルート検索などを行うことができます。

メール：パソコンなどとEメールの送受信ができます。→P43

メッセージ：SMSの送受信ができます。

メモ帳：メモを作成できます。

メロディコール：電話をかけてきた相手にお好みのメロディを聴かせるサービスです。メロディコールの楽曲試聴、購入、設定ができます。

※ メロディコールはお申し込みが必要な有料サービスです。

ライブドア：ポータルサイト「livedoor」のAndroid版トップを閲覧しやすいようにしたアプリです。

音楽：音楽を再生します。

音声レコーダー：音声を録音できます。
音声検索：音声でWebサイト内の情報を検索します。
楽天オークション：楽天オークションに出品されている、人気のファッションアイテムなどが簡単に検索できます。
楽天市場：楽天市場が誇る7,000万以上の商品を「検索」「ランキング」「カテゴリ」など様々な方法で探して、買い物ができるアプリです。
検索：FOMA端末内の機能やWebサイトを検索します。
時計：時計の表示やアラームの設定をします。
取扱説明書：本FOMA端末の取扱説明書です。説明から使いたい機能を直接起動することもできます。
※ 表紙裏面の「F-12Cの操作説明」をご覧ください。
書籍・コミック E★エブリスタ：プロ作家・有名人のオリジナル作品から一般ユーザの人気投稿作品まで、話題の電子書籍・コミックが閲覧できます。
※ プロ作家・有名人の作品閲覧は有料です。
乗換NAVITIME：目的地への詳しい道案内を取得できます。
声の宅配便：声の宅配便は、電話でメッセージを録音し、録音されたことを相手にSMSで通知するサービスです。本アプリを利用することで、簡単に声のメッセージを録音、再生することができます。
赤外線：赤外線通信で連絡先を受信できます。
設定：FOMA端末の各種設定を行います。
地図アプリ：ドコモ地図ナビが提供する地図・ナビ・乗換などの機能で、お出かけをサポートするアプリです。
※ トライアル期間は無料で利用可能です。
朝日新聞：朝日新聞のニュースを見ることができます。
電卓：加算、減算、乗算、除算などの計算ができます。
電話：電話をかけることができます。→P36
電話帳コピーツール：microSDカードを利用して、他のFOMA端末との間で電話帳データをコピーできます。また、Googleアカウントに登録された電話帳データをdocomoアカウントにコピーできます。
電話帳バックアップ：電話帳データを電話帳バックアップセンターに自動で定期的にバックアップすることができ、FOMA端末の紛失時や誤って削除した際などにリストアできるサービスです。
※ 電話帳バックアップの詳細については、『ご利用ガイドブック（spモード〈スマートフォン〉編）』をご覧ください。
動画撮影：動画を撮影します。→P46
野村證券：株価や為替、市況ニュース、動画配信など、充実の投資情報を無料で閲覧可能な野村證券スマートフォン専用オフィシャルサイトを閲覧するための専用アプリです。
連絡先：電話番号やメールアドレスなどを登録でき、連絡先から簡単な操作で連絡できます。→P38

文字入力

◆ ATOKキーボード

テンキーキーボード、QWERTYキーボード、手書きキーボードを使って文字を入力できます。
- 各キーボードから、音声文字入力を起動することもできます。
- NX!input powered by ATOKの設定で上書き手書き入力がONのときは、テンキーキーボード（ケータイ入力時）やQWERTYキーボードが表示されている状態で手書き入力できます。

■ テンキーキーボード

携帯電話で一般的なキーボードです。入力方式の設定により、ケータイ入力、ジェスチャー入力、ジェスチャー入力Pro、フリック入力の4種類の入力方式を使用できます。→P32

■ QWERTYキーボード

ローマ字入力で入力します。

■ 手書きキーボード

手書きで文字を入力できます。

❖キーボードの表示／非表示

■ キーボードの表示

1 文字入力欄を選択

- 文字入力欄にカーソルがある状態でMENUを1秒以上押しても表示できます。

■ キーボードの非表示

1 キーボード表示中にMENU（1秒以上）

- ∧を1秒以上タッチして、ガイドが表示されたらそのまま任意の方向にスライドし、∧がに切り替わってから、再度にスライドして指を離しても非表示にできます。

❖キーボードの切り替え

1 文字入力中に

タップするたびにキーボードの種類が切り替わります。

- を1秒以上タッチし、そのまま［テンキー］／［手書き］／［QWERTY］までスライドしたり、の上で上下左右にフリックしても切り替えられます。

❖テンキーキーボード入力方式の設定

1 アプリケーションメニューで[NX!input powered by ATOK]→[ソフトウェアキーボード]→[入力方式]

2 [ケータイ入力]／[ジェスチャー入力]／[ジェスチャー入力Pro]／[フリック入力]

❖テンキーキーボードで入力

1 テンキーキーボードに切り替え→P32

2 利用する入力モードに切り替えるときは

- 数字入力モードでは半角の数字のみ入力できます。
- を1秒以上タッチするとNX!inputメニューが表示され、ATOKの設定や単語登録ができます。

3 文字を入力

- 文字を入力するごとにキーボード上部に変換候補が表示されます。左右にスクロールすると、表示されていない変換候補を表示できます。
- をタップすると、カーソルの左側の文字が削除されます。
- カーソルを移動するには←／→をタップします。
- 直前に確定した文字を変換前の文字に戻すには、［戻す］をタップします。

- 文字を入力して［変換］をタップすると、表示される変換候補に推測変換候補は含まれません。
- 文字を入力して［カナ英数］をタップすると、カタカナ／数字／英字／年月日（全角／半角）などに変換できます。例えば［123］（全角）を入力するには、［あかさ］と入力→［カナ英数］→［全角］を選択→［123］（全角）をタップします。［変換］をタップしたあと［後変換］をタップすると、かな／全角カタカナ／半角カタカナに変換できます。
- 文字を逆順で表示するには、をタップします。

■ ケータイ入力

入力したい文字が割り当てられているキーを、目的の文字が表示されるまで続けてタップします。

■ ジェスチャー入力

入力したい文字が割り当てられているキーをタッチしたままにすると、キーの周りに文字（ジェスチャーガイド）が表示されますので、指を離さず目的の文字までスライドします。

- 濁音／半濁音／拗音を入力するには、キーから指を離さず下に1回または2回スライドします。キーの周りに濁音／半濁音／拗音のジェスチャーガイドが表示されますので、指を離さず目的の文字までスライドします。

例：「ぱ」を入力する場合

- 英数字入力モードの場合は、キーをタッチした指を離さず下にスライドすると、大文字／小文字を切り替えることができます。

■ ジェスチャー入力Pro

ジェスチャーガイドの表示／非表示やジェスチャーガイドが表示されるまでの時間を設定できます。

■ フリック入力

入力したい文字が割り当てられているキーをタッチしたままにすると、キーの上に文字（フリックガイド）が表示されます。指を離さず目的の文字の方向にフリックします。

- 濁音／半濁音／拗音を入力するには、フリックしたあと を1回または2回タップします。

❖QWERTYキーボードで入力

1 QWERTYキーボードに切り替え→P32

2 利用する入力モードに切り替えるときは

- を1秒以上タッチするとNX!inputメニューが表示され、ATOKの設定や単語登録ができます。

3 文字を入力

- 文字を入力するごとにキーボード上部に変換候補が表示されます。左右にスクロールすると、表示されていない変換候補を表示できます。
- をタップするたび、大文字画面と小文字画面が切り替わります。数字は小文字画面で入力できます。
- をタップすると、カーソルの左側の文字が削除されます。
- カーソルを移動するには／をタップします。
- 文字を入力して［後変換］をタップすると、かな／全角カタカナ／半角カタカナ／英字に変換できます。
- 文字を入力して［変換］をタップすると、表示される変換候補に推測変換候補は含まれません。

◆ テキスト編集

文字入力欄、Webサイトやドキュメント、受信メールなどのテキストコピー、文字入力欄でのテキストの切り取り、貼り付けの操作ができます。

❖テキストのコピー／切り取り

■ 文字入力欄でのコピー／切り取り

1 テキスト上を1秒以上

2 [語句を選択]／[すべて選択]

[語句を選択]のときはタップした位置の語句が、[すべて選択]のときはすべての範囲がオレンジでハイライト表示されます。

- テキスト範囲の両端にあるつまみをスライドすると選択範囲を調節できます。
- 選択範囲を解除するには、選択範囲外をタップします。

3 ハイライト表示されたテキストを選択→「テキストを編集」で[コピー]／[切り取り]

- 「テキストを編集」で[貼り付け]をタップすると、選択範囲が貼り付けたテキストで上書きされます。

■ Webサイトやドキュメントなどでコピー

1 テキスト上を1秒以上

テキスト範囲がオレンジでハイライト表示されます。

- テキスト範囲の両端にあるつまみをスライドすると選択範囲を調節できます。

2 ハイライト表示されたテキストを選択

❖テキストの貼り付け

1 貼り付け位置にカーソルを移動→テキスト上を1秒以上→[貼り付け]

ロック／セキュリティ

◆ FOMA端末で利用する暗証番号

FOMA端末を便利にお使いいただくための各種機能には、暗証番号が必要なものがあります。FOMA端末をロックするためのパスワードやネットワークサービスでお使いになるネットワーク暗証番号などがあります。用途ごとに上手に使い分けて、FOMA端末を活用してください。

各種暗証番号に関するご注意

- 設定する暗証番号は「生年月日」、「電話番号の一部」、「所在地番号や部屋番号」、「1111」、「1234」などの他人にわかりやすい番号はお避けください。また、設定した暗証番号はメモを取るなどしてお忘れにならないようお気をつけください。
- 暗証番号は、他人に知られないように十分ご注意ください。万が一暗証番号が他人に悪用された場合、その損害については、当社は一切の責任を負いかねます。
- 各種暗証番号を忘れてしまった場合は、契約者ご本人であることが確認できる書類（運転免許証など）やFOMA端末、ドコモUIMカードをドコモショップ窓口までご持参いただく必要があります。詳細は本書裏面の「総合お問い合わせ先」までご相談ください。
- PINロック解除コード（PUK）は、ドコモショップでご契約時にお渡しする契約申込書（お客様控え）に記載されています。ドコモショップ以外でご契約されたお客様は、契約者ご本人であることが確認できる書類（運転免許証など）とドコモUIMカードをドコモショップ窓口までご持参いただくか、本書裏面の「総合お問い合わせ先」までご相談ください。

❖ネットワーク暗証番号

ドコモショップまたはドコモインフォメーションセンターでのご注文受付時に契約者ご本人を確認させていただく際や各種ネットワークサービスご利用時などに必要な数字4桁の番号です。ご契約時に任意の番号を設定いただきますが、お客様ご自身で番号を変更できます。
パソコン向け総合サポートサイト「My docomo」※の「docomoID／パスワード」をお持ちの方は、パソコンから新しいネットワーク暗証番号への変更手続きができます。

※「My docomo」については、本書裏面の裏側をご覧ください。

❖PIN1コード／PIN2コード

ドコモUIMカードには、PIN1コード、PIN2コードという2つの暗証番号を設定できます。これらの暗証番号は、ご契約時は「0000」に設定されていますが、お客様ご自身で番号を変更できます。
PIN1コードは、第三者によるFOMA端末の無断使用を防ぐため、ドコモUIMカードを取り付ける、またはFOMA端末の電源を入れるたびに使用者を認識するために入力する4～8桁の番号（コード）です。PIN1コードを入力することにより、発着信および端末操作ができます。
PIN2コードは、ユーザー証明書利用時、発行申請などに使用する4～8桁の暗証番号（コード）です。

- 別のFOMA端末で利用していたドコモUIMカードを差し替えてお使いになる場合は、以前にお客様が設定されたPIN1／PIN2コードをご利用ください。設定を変更されていない場合は「0000」となります。
- PIN1／PIN2コードの入力を3回連続して間違えると、PIN1／PIN2コードがロックされて使えなくなります。この場合は、「PINロック解除コード」でロックを解除してください。

❖PINロック解除コード（PUK）

PINロック解除コードは、PIN1コード、PIN2コードがロックされた状態を解除するための8桁の番号です。なお、PINロック解除コードはお客様ご自身では変更できません。

- PINロック解除コードの入力を10回連続して間違えると、ドコモUIMカードがロックされます。その場合は、ドコモショップにお問い合わせください。

◆ PINコードの設定

❖SIMカードロックの設定

電源を入れたときにPIN1コードを入力するように設定します。

1 **ホーム画面で MENU →[設定]→[現在地情報とセキュリティ]→[SIMカードロック設定]**

2 **[SIMカードをロック]→PIN1コードを入力→[OK]**

✔お知らせ

- はじめてPIN1コードを入力する場合は、「0000」を入力してください。

❖PINロックの解除

1 **PIN1コードがロックされた状態で[緊急通報]**

2 **[**05*[PINロック解除コード]*[新しいPIN1コード]*[新しいPIN1コード]#]と入力**

- 例えば、PINロック解除コードが88888888でPIN1コードを7777に変更する場合、「**05*88888888*7777*7777#」と入力します。

電話／ネットワークサービス

電話をかける

1 アプリケーションメニューで[電話]

- ホーム画面で を押しても、電話をかけられます。

2 電話番号を入力→

- 訂正する場合は をタップします。

3 通話が終了したら[終了]／MENU

◆ 緊急通報

- FOMA端末から110番、119番、118番通報の際は、携帯電話からかけていることと、警察・消防機関側から確認などの電話をする場合があるため、電話番号を伝え、明確に現在地を伝えてください。また、通報は途中で通話が切れないように移動せず通報し、通報後はすぐに電源を切らず、10分程度は着信のできる状態にしておいてください。
- かけた地域により、管轄の消防署・警察署に接続されない場合があります。

1 アプリケーションメニューで[電話]→緊急通報番号を入力

警察への通報：110
消防・救急への通報：119
海上での通報：118

2

✔**お知らせ**

- ドコモUIMカードが未挿入の場合、日本国内では緊急通報をかけられません。
- 画面に［緊急通報］が表示されているときは、タップして緊急通報をかけられます。ただし日本国内では、PINコード入力画面表示中またはPINコードロック（PUKロック）（→P35）中は、緊急通報をかけられません。

電話を受ける

1 電話がかかってくる

▲▼：着信音、バイブレータの動作を止める

2 を右端までドラッグ／MENU

- 着信を拒否する場合は、 を左端までドラッグします。

3 通話が終了したら[終了]／MENU

通話中の操作

通話中画面では次の操作ができます。

① 通話を一時保留※1、2
② 名前や電話番号
③ 通話を終了

④ 別の相手に電話をかける※2
⑤ Bluetoothヘッドセットをオン※1
Bluetoothヘッドセットを使用したハンズフリー通話に切り替えます。
⑥ はっきりボイス／ぴったりボイスの状態表示
⑦ はっきりボイスのON／OFF※1
⑧ あわせるボイスのON／OFF
⑨ 通話時間
⑩ ダイヤル入力のキーパッドを表示※1
プッシュ信号（DTMFトーン）を送信します。
⑪ マイクをオフ（消音）※1
自分の声が相手に聞こえないようにします。
⑫ スピーカーフォンをオン※1
相手の声をスピーカーから流して、ハンズフリーで通話します。
※1 もう一度タップするとタップ前の状態に戻ります。
※2 キャッチホンのご契約が必要です。

◆ 通話音量

- 通話中以外は通話音量を調節することはできません。

1 通話中に▲▼

通話履歴

電話の発着信履歴やSMSの送受信履歴を確認できます。

1 アプリケーションメニューで[電話]／[連絡先]→[履歴]

① 履歴アイコン
発信履歴は、着信履歴は、不在着信履歴はがそれぞれ表示されます。また、同じ相手と連続して発着信した場合はが表示されます。をタップすると履歴の詳細確認、をタップすると元に戻ります。
② 名前や電話番号
タップしてアクションリストを表示します。アクションリストの項目をタップして、電話発信、SMS送信、連絡先登録または個人情報画面の表示を行います。1秒以上タッチすると、履歴を削除したり電話番号を編集して発信したりできます。
③ 発信アイコン
タップして電話を発信します。

連絡先

連絡先には電話番号やメールアドレスなどを入力できます。連絡先から簡単な操作で登録した人に連絡できます。

1 アプリケーションメニューで[連絡先]

① 名前
タップして個人情報画面を表示します。1秒以上タッチすると、電話発信、SMS送信、お気に入りに追加、連絡先の編集／削除などができます。

② インデックスバー

③ インデックス
タップした文字のインデックスバーにジャンプします。

◆ 個人情報画面の表示

1 連絡先リストで名前を選択

① 顔写真と名前

② 個人登録情報
項目をタップまたは1秒以上タッチして、電話を発信したり、Eメールを送信したりできます。

③ 連絡先のグループ

④ お気に入り
タップすると、お気に入りに追加されます。

⑤ SMS送信
タップすると、SMSを送信できます。

◆ 連絡先を登録

1 連絡先リストでMENU→[連絡先を新規登録]→必要に応じてアカウントを選択→各項目を設定→[登録]

◆ 連絡先の編集

1 連絡先リストで編集したい連絡先を選択（1秒以上）→[連絡先を編集]→変更したい項目を入力→[登録]

◆ 連絡先の削除

1 連絡先リストで削除したい連絡先を選択（1秒以上）→[連絡先を削除]→[OK]

- 連絡先リストでMENU→［選択削除］をタップすると、削除したい連絡先を選択して削除が可能です。［全て選択］をタップすると、全件削除できます。

◆ 連絡先のインポート／エクスポート

1 連絡先リストでMENU→[その他]→[インポート／エクスポート]→項目を選択→それぞれの操作を行う

SIMカードからインポート：ドコモUIMカードに保存した連絡先から追加したい連絡先を指定してインポートします。

SIMカードにエクスポート：指定した連絡先をドコモUIMカードにエクスポートします。エクスポートされる内容は名前／1件目の電話番号／1件目のメールアドレスのみとなり、最大50件まで保存できます。また、上書きでエクスポートする場合、ドコモUIMカード内の連絡先をすべて削除してからエクスポートされますので、ご注意ください。

SDカードからインポート：microSDカードに保存されている連絡先データ（vCardファイル）を、指定したアカウントに登録します。ファイルが複数ある場合は、登録するファイルを選択します。

SDカードにエクスポート：「プロフィール」を除く連絡先データ（vCardファイル）を、microSDカードに全件保存します。

表示可能な連絡先を共有：連絡先データをBluetooth通信もしくはメールに添付して全件送信します。

赤外線でインポート：連絡先データを赤外線通信で受信し、docomoアカウントに登録します。「プロフィール」も更新されます。受信後、［既存の電話帳に追加］または［電話帳を全削除した後に追加］を選択します。

赤外線でエクスポート：「プロフィール」を含めた連絡先データを赤外線通信で全件送信します。

✔お知らせ

- 他のFOMA端末との間で連絡先データの全件受け渡しをしたい場合は、赤外線通信によるインポート／エクスポート（→P38）や電話帳コピーツールをご利用ください。
- 赤外線通信中に、音声着信や他のアプリの起動を行った場合には赤外線通信は中断します。
- 赤外線通信で全件送信しても、相手の端末によっては「プロフィール」が受信されない場合があります。
- Bluetooth機能がONのときは、赤外線通信を利用できません。
- 本FOMA端末から、スマートフォン以外の端末へのBluetooth通信での連絡先全件送信はできません。

プロフィールの編集

FOMA端末の電話番号を確認できます。また、お客様ご自身の情報を入力、編集できます。

1 アプリケーションメニューで［連絡先］→MENU→［プロフィール］→MENU→［編集］→各項目を設定→［完了］

利用できるネットワークサービス

FOMA端末では、次のようなドコモのネットワークサービスをご利用いただけます。

サービス名	月額使用料	お申し込み
留守番電話サービス	有料	必要
キャッチホン	有料	必要
転送でんわサービス	無料	必要
発信者番号通知サービス	無料	不要
公共モード（ドライブモード）	無料	不要
公共モード（電源OFF）	無料	不要

- サービスエリア外や電波の届かない場所ではネットワークサービスはご利用になれません。
- 「サービス停止」とは、留守番電話サービスや転送でんわサービスなどの契約そのものを解約するものではありません。
- 詳しくは、『ご利用ガイドブック（ネットワークサービス編）』をご覧ください。
- お申し込み、お問い合わせについては、本書裏面の「総合お問い合わせ先」までお問い合わせください。

各種設定

設定メニュー

ホーム画面で MENU →［設定］を選択して表示される設定メニューから、各種設定を行います。

プロフィール：お客様の電話番号や［プロフィール］に登録したご自身の情報を表示します。
初期設定：初めて電源を入れたときに行う設定画面を表示します。
無線とネットワーク：機内モードやWi-Fi、Bluetooth機能、Wi-Fiテザリングなどの設定を行います。
通話設定：ドコモのネットワークサービスやインターネット通話などの設定を行います。
音：公共モードやマナーモード、バイブレーション、着信音などのサウンド設定を行います。
表示：画面の自動回転や明るさ、フォント、アニメーションなどの画面設定を行います。
マルチメディア：YouTubeなどの動画の画質補正を設定します。
現在地情報とセキュリティ：現在地の設定や画面ロック、パスワードなどの設定を行います。
アプリケーション：アプリケーションに関する設定を行います。
アカウントと同期：アカウントや同期に関する設定を行います。
プライバシー：データの初期化を行います。
ストレージ：空き容量表示やmicroSDカードのデータ消去などを行います。
言語とキーボード：使用言語やキーボードの設定を行います。
音声入出力：音声認識装置の設定やテキスト読み上げの設定を行います。
ユーザー補助：ダウンロードしたユーザー補助プラグインを使用可能にするかどうかを設定します。
日付と時刻：日付や時刻に関する設定を行います。
歩数計：歩数計に関する設定を行います。
端末情報：FOMA端末の各種情報を表示します。

無線とネットワーク

- 赤外線通信およびBluetooth機能については「ファイル管理」（→P48）をご覧ください。

◆ アクセスポイント（APN）の設定

インターネットに接続するためのアクセスポイント（spモード、mopera U）はあらかじめ登録されており、必要に応じて追加、変更することもできます。

- お買い上げ時には、通常使う接続先としてspモードが設定されています。
- Wi-Fiアクセスポイントがオンのときは、アクセスポイントの設定はできません。Wi-Fiアクセスポイントをオフにしてください。

❖アクセスポイントの追加（新しいAPN）

- MCCを440、MNCを10以外に変更しないでください。画面上に表示されなくなります。

1 ホーム画面で MENU →［設定］→［無線とネットワーク］→［モバイルネットワーク］→［アクセスポイント名］
  - 確認画面が表示された場合は、［OK］をタップします。

2 MENU →［新しいAPN］

3 ［名前］→ネットワークプロファイル名を入力→［OK］

4 ［APN］→任意の名前を入力→［OK］

5 その他、通信事業者によって要求されている項目を入力→ MENU →［保存］

❖アクセスポイントの初期化

アクセスポイントを初期化すると、お買い上げ時の状態に戻ります。

1 ホーム画面でMENU→[設定]→[無線とネットワーク]→[モバイルネットワーク]→[アクセスポイント名]

- 確認画面が表示された場合は、[OK]をタップします。

2 MENU→[初期設定にリセット]

❖spモード

spモードはNTTドコモのスマートフォン向けISPです。インターネット接続に加え、iモードと同じメールアドレス(@docomo.ne.jp)を使ったメールサービスなどがご利用いただけます。

- spモードはお申し込みが必要な有料サービスです。spモードの詳細については、ドコモのホームページをご覧ください。

❖mopera Uの設定

mopera UはNTTドコモのISPです。mopera Uにお申し込みいただいたお客様は、簡単な設定でインターネットをご利用いただけます

- mopera Uはお申し込みが必要な有料サービスです。

1 ホーム画面でMENU→[設定]→[無線とネットワーク]→[モバイルネットワーク]→[アクセスポイント名]

- 確認画面が表示された場合は、[OK]をタップします。

2 [mopera U(スマートフォン定額)]/[mopera U設定]を選択

✔お知らせ

- [mopera U設定]は、mopera U設定用アクセスポイントです。mopera U設定用アクセスポイントをご利用いただくと、パケット通信料がかかりません。なお、初期設定画面および設定変更画面以外には接続できないのでご注意ください。mopera U設定の詳細については、mopera Uのホームページをご覧ください。
- [mopera U(スマートフォン定額)]をご利用の場合、パケット定額サービスのご契約が必要です。mopera U(スマートフォン定額)の詳細については、ドコモのホームページをご覧ください。

◆Wi-Fi機能

FOMA端末のWi-Fi機能を利用して、自宅や社内ネットワーク、公衆無線LANサービスの無線LANアクセスポイントに接続して、メールやインターネットを利用できます。
無線LANアクセスポイントに接続するには、接続情報を設定する必要があります。

❖Wi-Fiをオンにしてネットワークに接続

1 ホーム画面でMENU→[設定]→[無線とネットワーク]

2 [Wi-Fi]にチェック

Wi-Fiがオンになり、利用可能なWi-Fiネットワークがスキャンされます。

3 [Wi-Fi設定]

検出されたWi-Fiネットワークのネットワーク名とセキュリティ設定(オープンネットワークまたはセキュリティで保護)がWi-Fiネットワークリストに表示されます。

4 Wi-Fiネットワークを選択→[接続]

- セキュリティで保護されたWi-Fiネットワークを選択した場合、パスワード(セキュリティキー)を入力し、[接続]をタップします。

✔お知らせ

- Wi-Fi機能がオンのときもパケット通信を利用できます。ただしWi-Fiネットワーク接続中は、Wi-Fiが優先されます。Wi-Fiネットワークが切断されると、自動的に3G／GPRSネットワークでの接続に切り替わります。切り替わったままでご利用になる場合は、パケット通信料が発生しますのでご注意ください。

❖Wi-Fiネットワークの簡単登録

AOSS™またはWPSに対応した無線LANアクセスポイントを利用して接続する場合は、簡単な操作で接続できます。

- あらかじめWi-Fiをオンにしてください。

1 ホーム画面でMENU→[設定]→[無線とネットワーク]→[Wi-Fi設定]→[Wi-Fi簡単登録]

2 登録方式を選択

AOSS™方式：**[AOSS方式]→[はい]→アクセスポイント側でAOSS™ボタンを押す→[OK]**

WPS方式：**[WPS方式]→[プッシュボタン方式]／[PIN入力方式]→[はい]→アクセスポイント側で操作**

- プッシュボタン方式の場合は、アクセスポイント側で専用ボタンを押します。PIN入力方式の場合は、FOMA端末に表示されたPINコードをアクセスポイント側で入力後、[OK]をタップします。

❖Wi-Fiネットワークの追加

ネットワークSSIDやセキュリティを入力して、手動でWi-Fiネットワークを追加します。

- あらかじめWi-Fiをオンにしてください。

1 ホーム画面でMENU→[設定]→[無線とネットワーク]→[Wi-Fi設定]

2 [Wi-Fiネットワークを追加]

3 追加するWi-FiネットワークのネットワークSSIDを入力→セキュリティを選択

- セキュリティは[なし][WEP][WPA/WPA2 PSK][802.1x EAP]が設定可能です。

4 必要に応じて追加のセキュリティ情報を入力→[保存]

❖Wi-Fiネットワークの切断

1 ホーム画面でMENU→[設定]→[無線とネットワーク]→[Wi-Fi設定]

2 接続しているWi-Fiネットワークを選択→[切断]

✔お知らせ

- Wi-FiをオフにしてWi-Fiネットワークを切断した場合、次回Wi-Fiオン時に接続可能なWi-Fiネットワークがあるときは、自動的に接続されます。

メール／インターネット

Eメール

mopera Uや一般のプロバイダが提供するメールアカウントを設定して、Eメールを利用します。

◆ 一般プロバイダのメールアカウントの設定

- あらかじめご利用のサービスプロバイダから設定に必要な情報を入手してください。

1 アプリケーションメニューで[メール]

2 [メールアドレス]→メールアドレスを入力→[パスワード]→パスワードを入力→[次へ]

以降は画面の指示に従って操作します。

◆ Eメールを作成して送信

1 アプリケーションメニューで[メール]

- 別のメールアカウントから送信する場合は、アカウント一覧からメールアカウントを選択します。
- 統合受信トレイが表示されている場合は、アカウント一覧画面でチェックの付いたメールアカウントから送信されます。

2 MENU→[作成]

3 [To]→アドレスを入力

- CcやBccを追加する場合は、MENU→［Cc／Bccを追加］をタップします。

4 [件名]→件名を入力

5 [メッセージを作成]→メッセージを入力

- ファイルを添付する場合は、MENU→［添付ファイルを追加］→ファイルを選択します。

6 [送信]

◆ Eメールの受信／表示

1 アプリケーションメニューで[メール]

- 複数のメールアカウントがある場合は、アカウント一覧からメールアカウントを選択します。
- アカウント一覧画面で［統合受信トレイ］をタップすると、すべてのメールアカウントのEメールが混在した受信トレイが表示されます。各メールアカウントはEメールの左側にあるカラーバーで区別されます。

2 受信トレイを更新するには、MENU→[更新]

3 Eメールを選択

✔**お知らせ**

- アカウントの設定で受信トレイの確認頻度とメール着信通知を設定していると、通知アイコンがステータスバーに表示されます。通知パネルを開いて通知をタップすると、受信トレイが表示されます。

spモードメール

ｉモードのメールアドレス（@docomo.ne.jp）を利用して、メールの送受信をします。
絵文字、デコメール®の使用が可能で、自動受信にも対応しています。

- spモードメールの詳細については、『ご利用ガイドブック（spモード〈スマートフォン〉編）』をご覧ください。

1 アプリケーションメニューで[spモードメール]

以降は画面の指示に従って操作します。

Gmail

Gmailは、GoogleのオンラインEメールサービスです。FOMA端末のGmailを使用して、Eメールの送受信が行えます。

◆ Gmailを開く

1 アプリケーションメニューで[Gmail]

受信トレイにメッセージスレッドの一覧が表示されます。

◆ GmailでEメールを作成して送信

1 受信トレイでMENU→[新規作成]

2 [To]→メールアドレスを入力

- CcやBccを追加する場合は、MENU→［Cc／Bccを追加］をタップします。

3 [件名]→件名を入力

4 [メッセージを作成]→メッセージを入力

- 画像を添付する場合は、MENU→［添付］→画像を選択します。

5

◆ Gmailの新着Eメール表示

1 受信トレイで未読Eメールがあるメッセージスレッドを選択

SMS

携帯電話番号を宛先にして、最大全角70文字（半角英数字のみの場合は最大160文字）の文字メッセージを送受信します。

◆ SMSを作成して送信

1 アプリケーションメニューで[メッセージ]→[新規作成]

2 [To]→携帯電話番号を入力

3 [メッセージを入力]→メッセージを入力→[送信]

緊急速報「エリアメール」

気象庁から配信される緊急地震速報などを受信することができるサービスです。

- エリアメールはお申し込みが不要の無料サービスです。
- 電源が入っていない、国際ローミング中など受信時のFOMA端末の利用状況によってはエリアメールを受信できません。
- 受信できなかったエリアメールを後で受信することはできません。
- エリアメールはメッセージに保存されます。→P44

◆ 緊急速報「エリアメール」を受信したときは

エリアメールを受信すると、専用ブザー音または専用着信音が鳴りステータスバーに通知アイコンが表示され、内容表示画面が表示されます。通知パネルを開いて通知をタップして、エリアメールを確認します。
- ブザー音または着信音は最大音量で約10秒間鳴動します。変更はできません。
- マナーモード中や公共モード（ドライブモード）中などに受信した場合は各機能の設定に従います。

◆ 緊急速報「エリアメール」設定

エリアメールを受信するかどうかを設定します。

1 アプリケーションメニューで[メッセージ]→MENU→[設定]→[受信設定]にチェック／チェックを外す

ブラウザ

ブラウザを利用して、パソコンと同じようにWebサイトを閲覧できます。
本FOMA端末では、パケット通信またはWi-Fiによる接続でブラウザを利用できます。

◆ Webサイト表示中の画面操作

■ Webページを縦表示／横表示に切り替え

FOMA端末を縦または横に持ち替えて、縦／横画面表示を切り替えます。

■ Webページの拡大／縮小

次の方法で拡大／縮小します。
ピンチアウト／ピンチイン：拡大／縮小します。
ダブルタップ：拡大します。
- 拡大前の表示に戻す場合は、再度ダブルタップします。

ズームコントロール：画面をフリックしてズームコントロールを表示します。で拡大し、で縮小します。
- 現在表示しているWebページの拡縮率を、次にWebページを開いたときに引継ぐことができます。Webページを拡大／縮小した時などに表示されるアイコンをタップして、引継ぎの有効（）／無効（）を切り替えます。

■ 画面のスクロール／パン

画面を上下／左右にスクロールまたは全方向にパンして見たい部分を表示します。

◆ ブラウザを起動してWebサイトを表示

1 アプリケーションメニューで[ブラウザ]

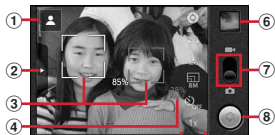
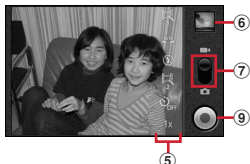
ホームページ設定に設定しているホームページが表示されます。

2 アドレスバーにURL／キーワードを入力

3 ／Webサイトを選択

マルチメディア

カメラ

◆ 撮影画面の見かた

静止画撮影画面

動画撮影画面

① 自動シーン認識アイコン
② メニュー表示用タブ
③ フォーカス枠、顔検出枠
④ 検出された人物の名前（サーチミーフォーカス）
⑤ 撮影設定メニュー
⑥ 最後に保存した静止画／動画の表示／再生
⑦ 静止画撮影／動画撮影の切り替え用つまみ
⑧ シャッターボタン
⑨ 録画開始／終了ボタン

◆ 静止画撮影

1 **アプリケーションメニューで［カメラ］→撮影画面に被写体を表示→**

シャッター音が鳴り、静止画が撮影されます。

◆ 動画撮影

1 **アプリケーションメニューで［動画撮影］→撮影画面に被写体を表示→**

撮影開始音が鳴り、撮影が始まります。

2

撮影停止音が鳴り、撮影が終了します。

ギャラリー

カメラで撮影したりダウンロードしたりしてmicroSDカードに保存した画像（静止画、動画）を表示／再生します。

- 次のファイル形式のデータを表示／再生できます。
  静止画：JPEG、BMP、GIF、PNG
  動画：WMV、H.264、H.263、MPEG4

◆ 画像の表示／再生

1 **アプリケーションメニューで［ギャラリー］→アルバムを選択→画像を選択**

- 動画は画像一覧で が表示されます。
- 前後の画像に切り替えるには、画面を左右にフリックします。

ミュージックプレーヤー

ミュージックプレーヤーを使用して、microSDカードに保存した音楽を再生します。

◆ 音楽再生

1 アプリケーションメニューで[音楽]→[アーティスト]／[アルバム]／[曲]／[プレイリスト]

- [曲] をタップした場合は、操作3に進みます。

2 アイテムを選択

- アイテムを1秒以上タッチして［再生］をタップすると、アイテム内の全曲が再生されます。

3 曲を選択

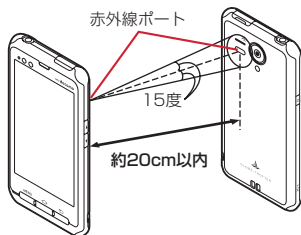
❖再生画面の操作

① 再生中のアイテム内の曲をリスト表示
② シャッフルのON／OFF
③ 全曲繰り返し／現在の曲繰り返し／繰り返しOFF
④ アーティスト名／アルバム名／曲名
　1秒以上タッチすると関連するコンテンツの検索
⑤ 再生時間が2秒未満でタップすると前の曲に移動／再生時間が2秒以上でタップすると曲の先頭に移動／1秒以上タッチすると巻き戻し
⑥ 一時停止／再生
⑦ 次の曲に移動／1秒以上タッチすると早送り
⑧ スライドで再生位置を指定
▲▼：音量調整

ファイル管理

赤外線通信

赤外線通信機能が搭載された他のFOMA端末や携帯電話などと連絡先を送受信します。

- 赤外線の通信距離は約20cm以内、赤外線放射角度は中心から15度以内です。また、データの送受信が終わるまで、FOMA端末を相手側の赤外線ポート部分に向けたまま動かさないでください。
- 直射日光が当たっている場所や蛍光灯の真下、赤外線装置の近くでは、正常に通信できない場合があります。
- 相手の端末によっては、データの送受信がしにくい場合があります。

❖赤外線通信で連絡先を送信

1 アプリケーションメニューで[連絡先]→連絡先を選択→受信側を受信待ち状態にする→MENU→[赤外線送信]→[OK]

❖赤外線通信で連絡先を受信

1 ホーム画面でMENU→[設定]→[無線とネットワーク]→[赤外線受信]

2 [1件受信]→データ受信後に[既存の電話帳に追加]→[OK]

全件受信：[全件受信] →送信側と同じ4桁の認証パスコードを入力→ [受信] →データ受信後に[既存の電話帳に追加] ／ [電話帳を全削除した後に追加] → [OK]

Bluetooth®通信

FOMA端末とBluetooth機器を接続してワイヤレスで通信します。

- Bluetooth接続を行うと電池の消費が早くなりますのでご注意ください。
- すべてのBluetooth機器とのワイヤレス通信を保証するものではありません。

◆ Bluetooth機器との接続

Bluetooth機器を接続します。Bluetooth機器で通話したり音楽を聴いたり、Bluetooth機器とデータを送受信したりすることができます。

1 ホーム画面でMENU→[設定]→[無線とネットワーク]

2 [Bluetooth]にチェック→[Bluetooth設定]→[デバイスのスキャン]

3 検出されたBluetooth機器をタップ→必要に応じてパスコード(PIN)を入力して[OK]／ペア設定する

付録／索引

オプション・関連機器のご紹介

FOMA端末にさまざまな別売りのオプション品を組み合わせることで、パーソナルからビジネスまでさらに幅広い用途に対応できます。なお、地域によってお取り扱いしていない商品もあります。
詳細は、ドコモショップなど窓口へお問い合わせください。また、オプション品の詳細については各機器の取扱説明書などをご覧ください。

- 電池パック F21
- リアカバー F63
- FOMA 充電microUSB変換アダプタ T01
- 卓上ホルダ F34
- PC接続用USBケーブル T01
- FOMA ACアダプタ 01※1／02※1、2
- FOMA DCアダプタ 01※1／02※1
- FOMA 海外兼用ACアダプタ 01※1、2
- FOMA 乾電池アダプタ 01※1
- ワイヤレスイヤホンセット 02
- 骨伝導レシーバマイク 02
- FOMA 補助充電アダプタ 02※1
- キャリングケース 02
- Bluetoothヘッドセット F01
- Bluetoothヘッドセット用ACアダプタ F01

※1 本FOMA端末と接続するには、FOMA 充電microUSB変換アダプタ T01が必要です。
※2 海外で使用する場合は、渡航先に適合した変換プラグアダプタが必要です。

トラブルシューティング（FAQ）

◆ 故障かな？と思ったら

- まず初めに、ソフトウェアを更新する必要があるかをチェックして、必要な場合にはソフトウェアを更新してください。→P53
- 気になる症状のチェック項目を確認しても症状が改善されないときは、本書裏面の「故障お問い合わせ先」または、ドコモ指定の故障取扱窓口までお気軽にご相談ください。

■ 電源・充電

●FOMA端末の電源が入らない

- 電池パックが正しく取り付けられていますか。→P22
- 電池切れになっていませんか。

●充電ができない（充電中にお知らせLEDが点灯しない、または点滅する）

- 電池パックが正しく取り付けられていますか。→P22
- アダプタの電源プラグがコンセントまたはシガーライターソケットに正しく差し込まれていますか。
- ACアダプタ（別売）をご使用の場合、組み合わせて使用する付属のFOMA 充電microUSB変換アダプタ T01が、FOMA端末およびACアダプタと正しく接続されていますか。
- 付属の卓上ホルダを使用する場合、FOMA端末の充電端子は汚れていませんか。汚れたときは、端子部分を乾いた綿棒などで拭いてください。
- 付属のPC接続用USBケーブル T01をご使用の場合、パソコンの電源が入っていますか。
- 充電しながら通話や通信、その他機能の操作を長時間行うと、FOMA端末の温度が上昇してお知らせLEDが点滅する場合があります。その場合は、FOMA端末の温度が下がってから再度充電を行ってください。

■ 端末操作

●電源断・再起動が起きる

電池パックの端子が汚れていると接触が悪くなり、電源が切れることがあります。汚れたときは、電池パックの端子を乾いた綿棒などで拭いてください。

●ボタンを押しても動作しない

スリープモードになっていませんか。⏻または［⌂］を押して解除してください。

●電池の使用時間が短い

- 圏外の状態で長時間放置されるようなことはありませんか。圏外時は通信可能な状態にできるよう電波を探すため、より多くの電力を消費しています。
- 電池パックの使用時間は、使用環境や劣化度により異なります。
- 電池パックは消耗品です。充電を繰り返すごとに、1回で使える時間が次第に短くなっていきます。十分に充電しても購入時に比べて使用時間が極端に短くなった場合は、指定の電池パックをお買い求めください。

●ドコモUIMカードが認識されない

ドコモUIMカードを正しい向きで挿入していますか。→P20

●操作中・充電中に熱くなる

操作中や充電中、充電しながら電話などを長時間行った場合などには、FOMA端末や電池パック、アダプタが温かくなることがありますが、安全上問題ありませんので、そのままご使用ください。

●時計がずれる

長い間、電源を入れた状態にしていると時計がずれる場合があります。日付と時刻が［自動］になっていることを確認し、電波のよい場所で電源を入れ直してください。

■ 通話

●通話ができない（場所を移動しても［圏外］の表示が消えない、電波の状態は悪くないのに発信または着信ができない）

- 電源を入れ直すか、電池パックまたはドコモUIMカードを入れ直してください。→P20、22、24
- 電波の性質により圏外ではなく、電波状態アイコンが4本表示されている状態でも、発信や着信ができない場合があります。場所を移動してかけ直してください。
- 電波の混み具合により、多くの人が集まる場所では電話やメールが混み合い、つながりにくい場合があります。その場合は［しばらくお待ちください］と表示され、話中音が流れます。場所を移動するか、時間をずらしてかけ直してください。

■ おサイフケータイ

●おサイフケータイが使えない

- 電池パックを取り外すと、おサイフケータイ ロックの設定に関わらずおサイフケータイの機能が利用できなくなります。
- おサイフケータイ ロック設定を起動していませんか。
- FOMA端末のマークがある位置を読み取り機にかざしていますか。

◆ エラーメッセージ

● **PINコードを入力**

PINコードを有効にしているときに電源を入れると表示されます。正しいPINコードを入力してください。

● **PINコードが正しくありません。残り回数：X**

正しくないPINコードを入力すると表示されます。正しいPINコードを入力してください。

● **暗証番号が一致しません／パスワードが一致しません　再入力してください**

画面ロック解除用暗証番号またはパスワードに誤りがあるときに表示されます。正しい暗証番号またはパスワードを入力してください。

● **SIMカードが挿入されていません**

ドコモUIMカードが正しく挿入されていない場合に表示されます。ドコモUIMカードが正しく挿入されているか確認してください。なお、ドコモUIMカードが正しく挿入されていない場合、日本国内では、緊急通報（110番、119番、118番）を含め電話発信できません。

● **電池残量がありません。シャットダウンします。**

電池残量がありません。充電してください。→P23

● **しばらくお待ちください**

音声回線規制中やパケット通信規制中に表示されます。しばらくたってから操作してください。

保証とアフターサービス

❖保証について

- FOMA端末をお買い上げいただくと、保証書が付いていますので、必ずお受け取りください。記載内容および『販売店名・お買い上げ日』などの記載事項をお確かめの上、大切に保管してください。必要事項が記載されていない場合は、すぐにお買い上げいただいた販売店へお申しつけください。無料保証期間は、お買い上げ日より1年間です。
- この製品は付属品を含め、改良のため予告なく製品の全部または一部を変更することがありますので、あらかじめご了承ください。
- FOMA端末の故障・修理やその他お取り扱いによって連絡先などに登録された内容が変化・消失する場合があります。万が一に備え連絡先などの内容はメモなどに控えをお取りくださるようお願いします。

※本FOMA端末は、電話帳コピーツールなどを使って連絡先データをmicroSDカードに保存していただくことができます。

❖アフターサービスについて

■ 調子が悪い場合は

修理を依頼される前に、本書の「故障かな？と思ったら」をご覧になってお調べください（→P49）。それでも調子がよくないときは、本書裏面の「故障お問い合わせ先」にご連絡の上、ご相談ください。

■ お問い合わせの結果、修理が必要な場合

ドコモ指定の故障取扱窓口にご持参いただきます。ただし、故障取扱窓口の営業時間内の受付となります。また、ご来店時には必ず保証書をご持参ください。なお、故障の状態によっては修理に日数がかかる場合がございますので、あらかじめご了承ください。

■ 保証期間内は

- 保証書の規定に基づき無料で修理を行います。
- 故障修理を実施の際は、必ず保証書をお持ちください。保証期間内であっても保証書の提示がないもの、お客様のお取り扱い不良（液晶・コネクタなどの破損）による故障・損傷などは有料修理となります。
- ドコモの指定以外の機器および消耗品の使用に起因する故障は、保証期間内であっても有料修理となります。

■ 次の場合は、修理できないことがあります。

- 故障取扱窓口にて水濡れと判断した場合（例：水濡れシールが反応している場合）
- お預かり検査の結果、水濡れ、結露・汗などによる腐食が発見された場合や、内部の基板が破損・変形していた場合（外部接続端子・ステレオイヤホン端子・液晶などの破損や筐体亀裂の場合においても修理ができない可能性があります）

※修理を実施できる場合でも保証対象外になりますので有料修理となります。

■ 保証期間が過ぎたときは

- ご要望により有料修理いたします。

■ 部品の保有期間は

- FOMA端末の補修用性能部品（機能を維持するために必要な部品）の最低保有期間は、製造打ち切り後6年間を基本としております。ただし、故障箇所によっては修理部品の不足などにより修理ができない場合もございますので、あらかじめご了承ください。また、保有期間が経過した後も、故障箇所によっては修理可能なことがありますので、本書裏面の「故障お問い合わせ先」へお問い合わせください。

■ お願い

- FOMA端末および付属品の改造はおやめください。
  - 火災・けが・故障の原因となります。
  - 改造が施された機器などの故障修理は、改造部分を元の状態に戻すことをご了承いただいた上でお受けいたします。ただし、改造の内容によっては故障修理をお断りする場合があります。
- 次のような場合は改造とみなされる場合があります。
  - 液晶部やボタン部にシールなどを貼る
  - 接着剤などによりFOMA端末に装飾を施す
  - 外装などをドコモ純正品以外のものに交換するなど
- 改造が原因による故障・損傷の場合は、保証期間内であっても有料修理となります。
- FOMA端末に貼付されている銘版シールは、はがさないでください。銘版シールには、技術基準を満たす証明書の役割があり銘版シールが故意にはがされたり、貼り替えられた場合など、銘版シールの内容が確認できないときは、技術基準適合の判断ができないため、故障修理をお受けできない場合がありますのでご注意願います。
- 各種機能の設定などの情報は、FOMA端末の故障・修理やその他お取り扱いによってクリア（リセット）される場合があります。お手数をおかけしますが、その場合は再度設定してくださるようお願いいたします。
- 修理を実施した場合には、故障箇所に関係なく、Wi-Fi用のMACアドレスおよびBluetoothアドレスが変更される場合があります。
- FOMA端末の受話口部やスピーカーなどに磁気を発生する部品を使用しています。キャッシュカードなど、磁気の影響を受けやすいものを近づけるとカードが使えなくなることがありますので、ご注意ください。
- 本FOMA端末は防水性能を有しておりますが、FOMA端末内部が濡れたり湿気を帯びてしまった場合は、すぐに電源を切って電池パックを外し、お早めに故障取扱窓口へご来店ください。ただしFOMA端末の状態によって修理できないことがあります。

メモリダイヤル（連絡先機能）およびダウンロード情報などについて

FOMA端末を機種変更や故障修理をする際に、お客様が作成されたデータまたは外部から取り込まれたデータあるいはダウンロードされたデータなどが変化、消失などする場合があります。これらについて当社は一切の責任を負いません。また、当社の都合によりお客様のFOMA端末を代替品と交換することにより修理に代えさせていただく場合がありますが、その際にはこれらのデータなどは一部を除き交換後の製品に移し替えることはできません。

ソフトウェア更新

F-12Cのソフトウェアを更新する必要があるかどうかネットワークに接続してチェックし、必要な場合にはパケット通信を使ってソフトウェアの一部をダウンロードし、ソフトウェアを更新する機能です。
ソフトウェア更新が必要な場合は、ドコモのホームページでご案内させていただきます。

- 更新方法には、次の3種類があります。
  自動更新：新しいソフトウェアを自動でダウンロードし、あらかじめ設定した時刻に書き換えを行います。
  即時更新：更新したいときすぐ更新を行います。
  予約更新：アップデートパッケージをインストールする時刻を予約すると、予約した時刻に自動的にソフトウェアが更新されます。

✔お知らせ

- ソフトウェア更新は、FOMA端末に登録された連絡先、カメラ画像、メール、ダウンロードデータなどのデータを残したまま行えますが、お客様のF-12Cの状態（故障、破損、水濡れなど）によってはデータの保護ができない場合がありますので、あらかじめご了承ください。必要なデータはバックアップを取っていただくことをおすすめします。ただし、ダウンロードデータなどバックアップが取れないデータがありますので、あらかじめご了承ください。

◆ ご利用にあたって

- ソフトウェア更新中は電池パックを外さないでください。更新に失敗することがあります。
- ソフトウェア更新を行う際は、電池をフル充電しておいてください。
- 次の場合はソフトウェアを更新できません。
  - 通話中
  - 圏外が表示されているとき
  - 国際ローミング中
  - 機内モード中
  - OSバージョンアップ中
  - 日付と時刻を正しく設定していないとき
  - ソフトウェア更新に必要な電池残量がないとき
  - ソフトウェア更新に必要な空き容量がないとき
- ソフトウェア更新（ダウンロード、書き換え）には時間がかかる場合があります。
- ソフトウェア更新中は、電話の発信、着信、各種通信機能およびその他の機能を利用できません。ただし、ダウンロード中は電話の着信が可能です。
- ソフトウェアの更新の際には、サーバー（当社のサイト）へSSL／TLS通信を行います。
- ソフトウェア更新は、電波が強く、電波状態アイコンが4本表示されている状態で、移動せずに実行することをおすすめします。ソフトウェアダウンロード中に電波状態が悪くなり、ダウンロードが中止された場合は、もう一度電波状態のよい場所でソフトウェア更新を行ってください。
- すでにソフトウェア更新済みの場合は、ソフトウェア更新のチェックを行った際に［更新の必要はありません。このままお使いください。］と表示されます。
- 国際ローミング中、または圏外にいるときは［ローミング中もしくは圏外時は更新できません。］と表示されます。
- ソフトウェア更新に必要な電池残量がないときは［充電不足のため更新ができません。フル充電をしてから再度更新を実行してください。］または［書換え処理が開始できません。フル充電後に再度更新を実行して下さい。］と表示されます。
- ソフトウェア更新中に送信されてきたSMSは、SMSセンターに保管されます。
- ソフトウェア更新の際、お客様のF-12C固有の情報（機種や製造番号など）が、自動的にサーバー（当社が管理するソフトウェア更新用サーバー）に送信されます。当社は送信された情報を、ソフトウェア更新以外の目的には利用いたしません。
- ソフトウェア更新に失敗した場合、［書換え失敗しました］と表示され、一切の操作ができなくなる可能性があります。その場合には、大変お手数ですがドコモ指定の故障取扱窓口までお越しいただけますようお願いいたします。
- PINコードが設定されているときは、書き換え処理後の再起動の途中でPINコード入力画面が表示され、PINコードを入力する必要があります。
- ソフトウェア更新中は、他のアプリケーションを起動しないでください。

◆ ソフトウェアの自動更新

新しいソフトウェアを自動でダウンロードし、あらかじめ設定した時刻に書き換えを行います。

❖ソフトウェアの自動更新設定

- お買い上げ時は、自動更新の設定が［自動で更新を行う。］に設定されています。

1 ホーム画面で MENU →［設定］→［端末情報］→［ソフトウェア更新］→［ソフトウェア更新設定の変更］

2 [自動で更新を行う。]／[自動で更新を行わない。]

❖ソフトウェア更新が必要になると

ソフトウェアが自動でダウンロードされると、ステータスバーに(ソフトウェア更新有)が表示され、書き換え時刻を確認したり、変更したりできます。

- (ソフトウェア更新有)が表示された状態で書き換え時刻になると、自動で書き換えが行われ、(ソフトウェア更新有)は消えます。

1 通知パネルを開き、通知をタップ

書き換え予告画面が表示されます。

2 目的の操作を行う

確認終了：[OK]
ホーム画面に戻ります。設定時刻になると書き換えを開始します。
時刻の変更：[開始時刻変更]
予約更新→P55「ソフトウェアの予約更新」
すぐに書き換える：[今すぐ開始]
即時更新→P55「ソフトウェアの即時更新」

◆ソフトウェアの即時更新

すぐにソフトウェア更新を開始します。

- ソフトウェア更新を起動するには書き換え予告画面から起動する方法とメニューから起動する方法があります。
- 書き換え中や更新中は、すべてのボタン操作が無効となり、書き換えや更新を中止することができません。

〈例〉メニューからソフトウェア更新を起動する

1 ホーム画面でMENU→[設定]→[端末情報]→[ソフトウェア更新]→[更新を開始する]→[はい]→自動的にダウンロード開始→ダウンロード終了

- ソフトウェア更新の必要がないときには、[更新の必要はありません。このままお使いください。]と表示されます。

書き換え予告画面からの起動：書き換え予告画面を表示→［今すぐ開始］

2 [書換え処理を開始します]表示後、約3秒後に自動的に書き換え開始

- ［OK］をタップすると、すぐに書き換えを開始します。

3 自動的に再起動→ソフトウェア更新が開始

4 更新終了後、約5秒後に自動的に再起動

ソフトウェア更新が終了すると、ホーム画面が表示されます。

❖ソフトウェア更新終了後の表示

ステータスバーに(ソフトウェア更新が完了しました。)が表示されます。通知パネルを開くと、更新完了画面が表示されます。

- (ソフトウェア更新が完了しました。)は、一度確認すると消えます。

◆ソフトウェアの予約更新

アップデートパッケージのインストールを別の時刻に予約したい場合は、ソフトウェア更新を行う時刻をあらかじめ設定しておきます。

1 書き換え予告画面を表示→[開始時刻変更]

端末で自動的に設定された時刻が表示されます。

2 時刻を入力→[OK]

❖予約の時刻になると

予約時刻になると書き換え処理開始画面が表示され、約3秒後に自動的にソフトウェア更新が開始されます（［OK］をタップすると、すぐにソフトウェア更新が開始されます）。ソフトウェア更新の予約時刻前には、電波の十分届く所でホーム画面を表示させておいてください。

携帯電話機の比吸収率（SAR）

この機種F-12Cの携帯電話機は、国が定めた電波の人体吸収に関する技術基準および電波防護の国際ガイドラインに適合しています。
この携帯電話機は、国が定めた電波の人体吸収に関する技術基準※1ならびに、これと同等な国際ガイドラインが推奨する電波防護の許容値を遵守するよう設計されています。この国際ガイドラインは世界保健機関（WHO）と協力関係にある国際非電離放射線防護委員会（ICNIRP）が定めたものであり、その許容値は使用者の年齢や健康状況に関係なく十分な安全率を含んでいます。
国の技術基準および国際ガイドラインは電波防護の許容値を人体頭部に吸収される電波の平均エネルギー量を表す比吸収率（SAR：Specific Absorption Rate）で定めており、携帯電話機に対するSARの許容値は2.0W/kgです。この携帯電話機の側頭部におけるSARの最大値は1.010W/kgです。個々の製品によってSARに多少の差異が生じることもありますが、いずれも許容値を満足しています。
携帯電話機は、携帯電話基地局との通信に必要な最低限の送信電力になるよう設計されているため、実際に通話している状態では、通常SARはより小さい値となります。一般的には、基地局からの距離が近いほど、携帯電話機の出力は小さくなります。
この携帯電話機は、側頭部以外の位置でも使用可能です。NTTドコモ推奨のキャリングケース等のアクセサリを用いて携帯電話機を身体に装着して使用することで、この携帯電話機は電波防護の国際ガイドラインを満足します※2。NTTドコモ推奨のキャリングケース等のアクセサリをご使用にならない場合には、身体から1.5センチ以上の距離に携帯電話機を固定でき、金属部分の含まれていない製品をご使用ください。
世界保健機関は、モバイル機器の使用に関して、現在の科学情報では人体への悪影響は確認されていないと表明しています。もし個人的に心配であれば、通話時間を抑えたり、頭部や体から携帯電話機を離して使用することが出来るハンズフリー用機器を利用しても良いとしています。
さらに詳しい情報をお知りになりたい場合には世界保健機関のホームページをご参照ください。
http://www.who.int/docstore/peh-emf/publications/facts_press/fact_japanese.htm
SARについて、さらに詳しい情報をお知りになりたい方は、次のホームページをご参照ください。
総務省のホームページ
http://www.tele.soumu.go.jp/j/sys/ele/index.htm
社団法人電波産業会のホームページ
http://www.arib-emf.org/index02.html
ドコモのホームページ
http://www.nttdocomo.co.jp/product/sar/
富士通のホームページ
http://www.fmworld.net/product/phone/sar/

※1 技術基準については、電波法関連省令（無線設備規則第14条の2）で規定されています。
※2 携帯電話機本体を側頭部以外でご使用になる場合のSARの測定法については、平成22年3月に国際規格（IEC62209-2）が制定されましたが、国の技術基準については、情報通信審議会情報通信技術分科会に設置された電波利用環境委員会にて審議している段階です。（平成23年7月現在）

◆ Declaration of Conformity

The product "F-12C" is declared to conform with the essential requirements of European Union Directive 1999/5/EC Radio and Telecommunications Terminal Equipment Directive 3.1(a), 3.1(b) and 3.2. The Declaration of Conformity can be found on http://www.fmworld.net/product/phone/doc/.

This mobile phone complies with the EU requirements for exposure to radio waves.
Your mobile phone is a radio transceiver, designed and manufactured not to exceed the SAR* limits** for exposure to radio-frequency(RF) energy, which SAR* value, when tested for compliance against the standard was 0.402W/kg. While there may be differences between the SAR* levels of various phones and at various positions, they all meet*** the EU requirements for RF exposure.

---

* The exposure standard for mobile phones employs a unit of measurement known as the Specific Absorption Rate, or SAR.

** The SAR limit for mobile phones used by the public is 2.0 watts/kilogram (W/Kg) averaged over ten grams of tissue, recommended by The Council of the European Union. The limit incorporates a substantial margin of safety to give additional protection for the public and to account for any variations in measurements.

*** Tests for SAR have been conducted using standard operation positions with the phone transmitting at its highest certified power level in all tested frequency bands. Although the SAR is determined at the highest certified power level, the actual SAR level of the phone while operating can be well below the maximum value. This is because the phone is designed to operate at multiple power levels so as to use only the power required to reach the network. In general, the closer you are to a base station antenna, the lower the power output.

◆ Federal Communications Commission (FCC) Notice

- This device complies with part 15 of the FCC rules.
  Operation is subject to the following two conditions :
  ① this device may not cause harmful interference, and
  ② this device must accept any interference received, including interference that may cause undesired operation.
- Changes or modifications made in or to the radio phone, not expressly approved by the manufacturer, will void the user's authority to operate the equipment.

◆ FCC RF Exposure Information

This model phone meets the U.S. Government's requirements for exposure to radio waves.
This model phone contains a radio transmitter and receiver. This model phone is designed and manufactured not to exceed the emission limits for exposure to radio frequency (RF) energy as set by the FCC of the U.S. Government. These limits are part of comprehensive guidelines and establish permitted levels of RF energy for the general population. The guidelines are based on standards that were developed by independent scientific organizations through periodic and thorough evaluation of scientific studies.
The exposure standard for wireless mobile phones employs a unit of measurement known as the Specific Absorption Rate (SAR). The SAR limit set by the FCC is 1.6 W/kg. Tests for SAR are conducted using standard operating positions as accepted by the FCC with the phone transmitting at its highest certified power level in all tested frequency bands.
Although the SAR is determined at the highest certified power level, the actual SAR level of the phone while operating can be well below the

maximum value. This is because the phone is designed to operate at multiple power levels so as to use only the power required to reach the network. In general, the closer you are to a wireless base station antenna, the lower the power output level of the phone.
Before a phone model is available for sale to the public, it must be tested and certified to prove to the FCC that it does not exceed the limit established by the U.S. government-adopted requirement for safe exposure. The tests are performed on position and locations (for example, at the ear and worn on the body) as required by FCC for each model. The highest SAR value for this model phone as reported to the FCC, when tested for use at the ear, is 1.000W/kg, and when worn on the body, is 1.010W/kg. (Body-worn measurements differ among phone models, depending upon available accessories and FCC requirements).
While there may be differences between the SAR levels of various phones and at various positions, they all meet the U.S. government requirements.
The FCC has granted an Equipment Authorization for this model phone with all reported SAR levels evaluated as in compliance with the FCC RF exposure guidelines. SAR information on this model phone is on file with the FCC and can be found under the Equipment Authorization Search section at http://www.fcc.gov/oet/ea/fccid/ (please search on FCC ID VQK-F12C).
For body worn operation, this phone has been tested and meets the FCC RF exposure guidelines when used with an accessory designated for this product or when used with an accessory that contains no metal and which positions the handset at a minimum distance of 1.0 cm from the body.

※ In the United States, the SAR limit for wireless mobile phones used by the general public is 1.6 Watts/kg (W/kg), averaged over one gram of tissue. SAR values may vary depending upon national reporting requirements and the network band.

This equipment has been tested and found to comply with the limits for a Class B digital device, pursuant to part 15 of the FCC Rules. These limits are designed to provide reasonable protection against harmful interference in a residential installation. This equipment generates, uses and can radiate radio frequency energy and, if not installed and used in accordance with the instructions, may cause harmful interference to radio communications. However, there is no guarantee that interference will not occur in a particular installation.
If this equipment does cause harmful interference to radio or television reception, which can be determined by turning the equipment off and on, the user is encouraged to try to correct the interference by one or more of the following measures:

- Reorient or relocate the receiving antenna.
- Increase the separation between the equipment and receiver.
- Connect the equipment into an outlet on a circuit different from that to which the receiver is connected.
- Consult the dealer or an experienced radio/TV technician for help.

◆ Important Safety Information

AIRCRAFT

Switch off your wireless device when boarding an aircraft or whenever you are instructed to do so by airline staff. If your device offers flight mode or similar feature consult airline staff as to whether it can be used on board.

DRIVING
Full attention should be given to driving at all times and local laws and regulations restricting the use of wireless devices while driving must be observed.
HOSPITALS
Mobile phones should be switched off wherever you are requested to do so in hospitals, clinics or health care facilities. These requests are designed to prevent possible interference with sensitive medical equipment.
PETROL STATIONS
Obey all posted signs with respect to the use of wireless devices or other radio equipment in locations with flammable material and chemicals. Switch off your wireless device whenever you are instructed to do so by authorized staff.
INTERFERENCE
Care must be taken when using the phone in close proximity to personal medical devices, such as pacemakers and hearing aids.
Pacemakers
Pacemaker manufacturers recommend that a minimum separation of 15 cm be maintained between a mobile phone and a pace maker to avoid potential interference with the pacemaker. To achieve this use the phone on the opposite ear to your pacemaker and does not carry it in a breast pocket.
Hearing Aids
Some digital wireless phones may interfere with some hearing aids. In the event of such interference, you may want to consult your hearing aid manufacturer to discuss alternatives.
For other Medical Devices :
Please consult your physician and the device manufacturer to determine if operation of your phone may interfere with the operation of your medical device.

輸出管理規制

本製品及び付属品は、日本輸出管理規制（「外国為替及び外国貿易法」及びその関連法令）の適用を受ける場合があります。また米国再輸出規制（Export Administration Regulations）の適用を受けます。本製品及び付属品を輸出及び再輸出する場合は、お客様の責任及び費用負担において必要となる手続きをお取りください。詳しい手続きについては経済産業省または米国商務省へお問合せください。

知的財産権

◆ 著作権・肖像権

お客様が本製品を利用して撮影またはインターネット上のホームページからのダウンロードなどにより取得した文章、画像、音楽、ソフトウェアなど第三者が著作権を有するコンテンツは、私的使用目的の複製や引用など著作権法上認められた場合を除き、著作権者に無断で複製、改変、公衆送信などはできません。
実演や興行、展示物などには、私的使用目的であっても撮影または録音を制限している場合がありますのでご注意ください。
また、お客様が本製品を利用して本人の同意なしに他人の肖像を撮影したり、撮影した他人の肖像を本人の同意なしにインターネット上のホームページに掲載するなどして不特定多数に公開することは、肖像権を侵害する恐れがありますのでお控えください。

◆ 商標

本書に記載されている会社名や商品名は、各社の商標または登録商標です。
- 「FOMA」「ｉモード」「ｉアプリ」「トルカ」「mopera」「mopera U」「WORLD CALL」「ｉチャネル」「おサイフケータイ」「iD」「WORLD WING」「公共モード」「メロディコール」「エリアメール」「spモード」「声の宅配便」および「iD」ロゴはNTTドコモの商標または登録商標です。

- 「キャッチホン」は日本電信電話株式会社の登録商標です。
- McAfee®、マカフィー®は米国法人McAfee, Inc.またはその関係会社の米国またはその他の国における登録商標です。
- ロヴィ、Rovi、Gガイド、G-GUIDE、Gガイドモバイル、G-GUIDE MOBILE、およびGガイド関連ロゴは、米国Rovi Corporationおよび／またはその関連会社の日本国内における商標または登録商標です。
- 本製品はAdobe Systems IncorporatedのAdobe® Flash® Playerを搭載しています。
  Adobe Flash Player Copyright© 1996-2011 Adobe Systems Incorporated. All rights reserved.
  Adobe、FlashおよびFlash Logoは、Adobe Systems Incorporated（アドビシステムズ社）の米国ならびにその他の国における登録商標または商標です。

- 「ATOK」は株式会社ジャストシステムの登録商標です。「ATOK」は、株式会社ジャストシステムの著作物であり、その他権利は株式会社ジャストシステムおよび各権利者に帰属します。
- はフェリカネットワークス株式会社の登録商標です。
- FeliCaは、ソニー株式会社の登録商標です。
- QRコードは株式会社デンソーウェーブの登録商標です。
- TwitterおよびTwitterロゴはTwitter, Inc.の商標または登録商標です。
- FacebookおよびFacebookロゴはFacebook, Inc.の商標または登録商標です。
- 「mixi」「マイミク」は、株式会社ミクシィの登録商標です。
- ThinkFreeは、Hancom Incの登録商標です。
- microSDHCロゴはSD-3C, LLCの商標です。

- Microsoft®、Windows®、Windows Media®、Windows Vista®、PowerPoint®は、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における商標または登録商標です。
- Microsoft Excel、Microsoft Wordは、米国のMicrosoft Corporationの商品名称です。本書ではExcel、Wordのように表記している場合があります。
- 本書では各OS（日本語版）を次のように略して表記しています。
  - Windows 7は、Microsoft® Windows® 7（Starter、Home Basic、Home Premium、Professional、Enterprise、Ultimate）の略です。
  - Windows Vistaは、Windows Vista®（Home Basic、Home Premium、Business、Enterprise、Ultimate）の略です。
  - Windows XPは、Microsoft® Windows® XP Professional operating systemまたはMicrosoft® Windows® XP Home Edition operating systemの略です。
- GoogleおよびGoogleロゴ、AndroidおよびAndroidロゴ、AndroidマーケットおよびAndroidマーケットロゴ、GmailおよびGmailロゴ、Google Latitude、YouTubeおよびYouTubeロゴ、Picasaは、Google, Inc.の登録商標です。
- Bluetooth®とそのロゴマークは、Bluetooth SIG, INCの登録商標で、株式会社NTTドコモはライセンスを受けて使用しています。その他の商標および名称はそれぞれの所有者に帰属します。
- 「モリサワUD新丸ゴ」は、株式会社モリサワより提供を受けており、フォントデータの著作権は同社に帰属します。
- Wi-Fi®、Wi-Fi Alliance®、WMM®、Wi-FiロゴおよびWi-Fi CERTIFIEDロゴはWi-Fi Allianceの登録商標です。
- Wi-Fi CERTIFIED™、WPA™、WPA2™およびWi-Fi Protected Setup™はWi-Fi Allianceの商標です。
- AOSS™は株式会社バッファローの商標です。

- OBEX™は、Infrared Data Association®の商標です。
- その他、本書に記載されている会社名や商品名は、各社の商標または登録商標です。

◆ その他

- FeliCaは、ソニー株式会社が開発した非接触ICカードの技術方式です。
- 本製品は、MPEG-4 Visual Patent Portfolio Licenseに基づきライセンスされており、お客様が個人的かつ非営利目的において以下に記載する場合においてのみ使用することが認められています。
  - MPEG-4 Visualの規格に準拠する動画やｉモーション（以下、MPEG-4 Video）を記録する場合
  - 個人的かつ営利活動に従事していない消費者によって記録されたMPEG-4 Videoを再生する場合
  - MPEG-LAよりライセンスを受けた提供者により提供されたMPEG-4 Videoを再生する場合

  プロモーション、社内用、営利目的などその他の用途に使用する場合には、米国法人MPEG LA, LLCにお問い合わせください。
- 本製品は、AVCポートフォリオライセンスに基づき、お客様が個人的に、且つ非商業的な使用のために（i）AVC規格準拠のビデオ（以下「AVCビデオ」と記載します）を符号化するライセンス、および／または（ii）AVCビデオ（個人的で、且つ商業的活動に従事していないお客様により符号化されたAVCビデオ、および／またはAVCビデオを提供することについてライセンス許諾されているビデオプロバイダーから入手したAVCビデオに限ります）を復号するライセンスが許諾されております。その他の使用については、黙示的にも一切のライセンス許諾がされておりません。さらに詳しい情報については、MPEG LA, L.L.C.から入手できる可能性があります。
  http://www.mpegla.com をご参照ください。
- 本製品は、VC-1 Patent Portfolio Licenseに基づき、お客様が個人的に、且つ非商業的な使用のために（i）VC-1規格準拠のビデオ（以下「VC-1ビデオ」と記載します）を符号化するライセンス、および／または（ii）VC-1ビデオ（個人的で、且つ商業的活動に従事していないお客様により符号化されたVC-1ビデオ、および／またはVC-1ビデオを提供することについてライセンス許諾されているビデオプロバイダーから入手したVC-1ビデオに限ります）を復号するライセンスが許諾されております。その他の使用については、黙示的にも一切のライセンス許諾がされておりません。さらに詳しい情報については、MPEG LA, L.L.C.から入手できる可能性があります。
  http://www.mpegla.com をご参照ください。

◆ Adobe® Flash® Playerエンドユーザ・ライセンス契約

(i) a prohibition against distribution and copying, (ii) a prohibition against modifications and derivative works, (iii) a prohibition against decompiling, reverse engineering, disassembling, and otherwise reducing the software to a human-perceivable form, (iv) a provision indicating ownership of the Software by Partner and its suppliers, (v) a disclaimer of indirect, special, incidental, punitive, and consequential damages, and (vi) a disclaimer of all applicable statutory warranties, to the full extent allowed by law, a limitation of liability not to exceed the price of the Integrated Product, and/or a provision that the end user's sole remedy shall be a right of return and refund, if any, from Partner or its Distributors.

◆ オープンソースソフトウェア

本製品にはGNU General Public License(GPL)、GNU Lesser General Public License(LGPL)、その他のライセンスに基づくソフトウェアが含まれています。詳細については、以下のサイトの本製品に関する情報をご覧ください。
http://www.fmworld.net/product/phone/sp/android/develop/

索引

機能名やキーワードを列挙した索引には、「五十音目次」としての機能もあります。なお、「登録」「削除」などの操作については、まず1階層目（**太字**）の機能名やキーワードで検索したのち、2階層目の索引項目から探してください。

ラ行

英数字・記号

ご契約内容の確認・変更、各種サービスのお申込、各種資料請求をオンライン上で承っております。

パソコンから My docomo
（http://www.mydocomo.com/）
⇒ 各種お申込・お手続き

※パソコンからご利用になる場合、「docomo ID／パスワード」が必要となります。
※「ネットワーク暗証番号」および「docomo ID／パスワード」をお持ちでない方・お忘れの方は、本書裏面の「総合お問い合わせ先」にご相談ください。
※ご契約内容によりご利用になれない場合があります。
※システムメンテナンスなどにより、ご利用になれない場合があります。

マナーもいっしょに携帯しましょう

こんな場合は必ず電源を切りましょう

■ 使用禁止の場所にいる場合

航空機内、病院内では、必ずFOMA端末の電源を切ってください。

※ 医用電気機器を使用している方がいるのは病棟内だけではありません。ロビーや待合室などでも、必ず電源を切ってください。

■ 満員電車の中など、植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器を装着した方が近くにいる可能性がある場合

植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器に悪影響を与える恐れがあります。

こんな場合は公共モードに設定しましょう

■ 運転中の場合

運転中の携帯電話を手で保持しての使用は罰則の対象となります。
ただし、傷病者の救護または公共の安全の維持など、やむを得ない場合を除きます。

■ 劇場・映画館・美術館など公共の場所にいる場合

静かにするべき公共の場所でFOMA端末を使用すると、周囲の方への迷惑になります。

使用する場所や声・着信音の大きさに注意しましょう

■ レストランやホテルのロビーなどの静かな場所でFOMA端末を使用する場合は、声の大きさなどに気をつけましょう。

■ 街の中では、通行の妨げにならない場所で使用しましょう。

プライバシーに配慮しましょう

カメラ付き携帯電話を利用して撮影や画像送信を行う際は、プライバシーなどにご配慮ください。

こんな機能が公共のマナーを守ります

かかってきた電話に応答しない設定や、FOMA端末から鳴る音を消す設定など、便利な機能があります。

● 公共モード（ドライブモード／電源OFF）
電話をかけてきた相手に、運転中もしくは携帯電話の利用を控えなければならない場所にいる旨のガイダンス、または電源を切る必要がある場所にいる旨のガイダンスが流れ、自動的に電話を終了します。

● バイブレーション
電話がかかってきたことを、振動でお知らせします。

● マナーモード／オリジナルマナー
着信音や操作音などFOMA端末から鳴る音を消します（マナーモード）。
音の種類ごとに音量とバイブレーションを設定できます（オリジナルマナー）。
※ただし、シャッター音は消せません。

そのほかにも、留守番電話サービス、転送でんわサービスなどのオプションサービスが利用できます。

総合お問い合わせ先
〈ドコモ インフォメーションセンター〉

■ドコモの携帯電話からの場合
（局番なしの）151（無料）
※一般電話などからはご利用になれません。

■一般電話などからの場合
0120-800-000
※一部のIP電話からは接続できない場合があります。
受付時間　午前9：00～午後8：00　（年中無休）

故障お問い合わせ先

■ドコモの携帯電話からの場合
（局番なしの）113（無料）
※一般電話などからはご利用になれません。

■一般電話などからの場合
0120-800-000
※一部のIP電話からは接続できない場合があります。
受付時間　24時間　（年中無休）

●番号をよくご確認の上、お間違いのないようにおかけください。
●各種手続き、故障・アフターサービスについては、上記お問い合わせ先にご連絡いただくか、ドコモホームページにてお近くのドコモショップなどにお問い合わせください。
ドコモホームページ　http://www.nttdocomo.co.jp/

海外での紛失、盗難、精算などについて
〈ドコモ インフォメーションセンター〉（24時間受付）

●ドコモの携帯電話からの場合
滞在国の国際電話アクセス番号 -81-3-6832-6600*（無料）
*一般電話などでかけた場合には、日本向け通話料がかかります。
※F-12Cからご利用の場合は、+81-3-6832-6600でつながります（「+」は「0」を1秒以上タッチします）。

●一般電話などからの場合〈ユニバーサルナンバー〉
ユニバーサルナンバー用国際識別番号 -8000120-0151*
*滞在国内通話料などがかかる場合があります。
※主要国の国際電話アクセス番号／ユニバーサルナンバー用国際識別番号については、ドコモの「国際サービスホームページ」をご覧ください。

海外での故障について
〈ネットワークオペレーションセンター〉（24時間受付）

●ドコモの携帯電話からの場合
滞在国の国際電話アクセス番号 -81-3-6718-1414*（無料）
*一般電話などでかけた場合には、日本向け通話料がかかります。
※F-12Cからご利用の場合は、+81-3-6718-1414でつながります（「+」は「0」を1秒以上タッチします）。

●一般電話などからの場合〈ユニバーサルナンバー〉
ユニバーサルナンバー用国際識別番号 -8005931-8600*
*滞在国内通話料などがかかる場合があります。
※主要国の国際電話アクセス番号／ユニバーサルナンバー用国際識別番号については、ドコモの「国際サービスホームページ」をご覧ください。

●紛失・盗難などにあわれたら、速やかに利用中断手続きをお取りください。
●お客様が購入されたFOMA端末に故障が発生した場合は、ご帰国後にドコモ指定の故障取扱窓口へご持参ください。

マナーもいっしょに携帯しましょう。
○公共の場所で携帯電話をご利用の際は、周囲の方への心くばりを忘れずに。

販売元　株式会社NTTドコモ
製造元　富士通株式会社

環境保全のため、不要になった電池はNTTドコモまたは代理店、リサイクル協力店などにお持ちください。

'11.7（1版）
CA92002-7670